

佐賀県立博物館全景

目 次

はじめに	1
管理の概要	2
1. 本館の沿革	2
2. 博物館日誌	3
3. 規模および施設	6
4. 組織	7
5. 博物館協議会	8
6. 昭和51年度歳出予算	9
事業の概況	10
1. 常設展	10
2. 企画展	14
3. 昭和51年度観覧者数	47
4. 普及活動	48
5. 発掘調査	51
資料の概況	52
1. 昭和50年度末資料の概況	52
2. 昭和51年度購入資料	55
3. 昭和51年度寄贈資料	60
4. 昭和51年度寄託資料	65
5. 昭和51年度購入・寄贈図書	68
茶室の管理と運営の概況	70
1. 茶室の規模および施設	70
2. 茶室の規則、規程	70
3. 茶室の利用状況	72
4. 茶道具備品	72
昭和51年度の主要行事写真	76
昭和52年度の事業計画	77
案内図	79

はじめに

昭和51年度における当博物館の事業概要をとりまとめました。本年度は当館発足第7年目になり、年度の重点目標を資料の整備、常設展の充実、特別企画展の開催において努力しました。殊に第31回国民体育大会の開催に伴い、夏季大会には皇太子殿下、皇太子妃殿下が「柿右衛門名品展」をご観覧のため行啓になり、秋季大会には「若楠国体芸術展」をご観覧のため天皇陛下、皇后陛下の行幸啓があり、無事芸術展会場としての任務を果すことができました。これもひとえに関係各位のご支援とご協力の賜と深く感謝いたします。

昭和51年度常設の「佐賀県の歴史と文化展」の展示には、変化のある内容をもたせ、佐賀県を紹介する教養の場として提供したほか、「若楠国体芸術展 - 肥前歴史の旅、佐賀400年をたずねて（第1部）」、「現代佐賀美術秀作展（第2部）」、「九州の原始文様展」、「肥前の近世絵画展」を企画し、広く一般公開展示する外、図録を刊行し領布することができました。

また外部との連けい企画展では「日本伝統工芸秀作展」「佐賀美術協会展」「佐賀県書作家協会展」「佐賀県七夕書道展覧会」「柿右衛門名品展」「佐賀県美術展」「佐賀県高等学校美術展」「佐賀県学童美術展」「教職員美術展」「九州グラフィックデザイン展」「佐賀大学教授城秀男退官記念展」「佐賀大学教授土肥春嶽退官記念展」「佐賀大学卒業制作展」「労働者美術展」等を共催したが、企画にも参画して所期の実績をあげることができました。

しかしこのことで十分なものではなく、今後更に資料の充実整備を図り、研究調査態勢の強化、展示内容の質的向上と量的拡大をはかるとともに、普及広報活動、教育活動を充実し博物館事業の伸長を目指したいと考えております。

なお故市村清氏夫人、幸恵氏から寄贈をうけた茶室「清恵庵」も、開室4年目を迎え、一般に利用が周知され、利用者、見学者ともに漸増しております。県内に数少ない、本格的な施設ですので、利用、管理に万全を期したいと考えております。

ここに昭和51年度の事業を集録し、ご報告申しあげます。

昭和52年6月1日

佐賀県立博物館長 大園 弘

管 理 の 概 要

1. 本 館 の 沿 革

- 昭和23年4月1日 佐賀県中央公民館設置条例に基づき、中央公民館設置。
- 昭和26年4月1日 中央公民館設置条例が廃止され、佐賀県文化館設置条例に基づく県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を、博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき、佐賀県文化館を博物館として登録する。
明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和42年度に設計を委託し、建設計画に着手し、昭和43年度から45年度にわたる継続事業として建設することになる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和44年1月23日 佐賀県立博物館起工式。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
佐賀県立博物館設置条例公布。
佐賀県立博物館協議会条例公布。
佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館竣工。
佐賀県立博物館設置条例施行。
博物館開設準備事務局廃止。
博物館職員の発令、館長以下18名。
佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式挙行。
- 昭和47年3月4日 鉄器減圧含浸装置を研究室に設置。
- 昭和47年12月20日 城内公園の一部（西側駐車場、東側噴水）が佐賀土木事務所から博物館に管理委任される。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。茶室落成式。
- 昭和49年3月30日 時計塔を西日本新聞社より第4回日展記念として寄贈を受ける。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄氏作「岬の男」（ブロンズ）前庭に据付完成。

51年

- 4月1日 人事異動
4月7日 「三根霞郷展」終了（総観覧者数3,923名）
4月8日 常設展飾付のため臨時休館（10日まで）
4月9日 県環境整備課よりミサゴ、マナヅル、オジロワシ標本受納
4月20日 NBCから「赤絵旋風」フィルム購入
4月25日 「岡田三郎助素描展」（常設展と併設）開場
4月26日 国体芸術展協議会開催
5月1日 人事異動
5月5日 「こどもの日」のため常設展無料公開
5月9日 「岡田三郎助素描展」終了
5月23日 「日本伝統工芸秀作展」開場
記念講演会 「手仕事と現代」
講師 武蔵野大学教授 水尾比呂志氏
6月6日 「日本伝統工芸秀作展」終了（総観覧者数6,025名）
6月16日 「佐賀美術協会展」開場
6月20日 「佐賀美術協会展」終了（総観覧者数2,076名）
6月30日 三池郷土館 山田氏来館
7月14日 国体芸術展協議会開催
7月15日 「県書作家協会展」開場
7月16日 山鹿市教育委員会弓掛教育長来館
7月20日 「県書作家協会展」終了（総観覧者数1,445名）
7月21日 国体芸術展企画審議会開催
7月22日 「七夕書道展」開場
7月24日 文化庁美術工芸課長浜田隆氏来館
在日ソビエト大使館セリワノフ三等書記官来館
7月26日 国体芸術展協議会開催
7月27日 「七夕書道展」終了（総観覧者数1,165名）
8月16日 「柿右衛門名品展」準備のため休館（28日まで）
8月26日 浜松市議会議員来館 博物館見学
8月29日 「柿右衛門名品展」開場

- 8月30日 第1回博物館協議会開催
- 9月5日 「柿右衛門名品展」記念講演会
「近世工芸の装飾性」
講師 佐賀県文化財保護審議会委員 永竹 威氏
- 9月18日 皇太子殿下、皇太子妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館
- 9月19日 「柿右衛門名品展」記念講演会
「肥前陶磁研究の問題点」
講師 永竹 威氏
- 9月25日 「柿右衛門名品展」記念講演会
「東西窯芸の交流」
講師 永竹 威氏
- 9月26日 「柿右衛門名品展」終了（総観覧者数 15,995名）
- 10月10日 「若楠国体芸術展」開場
- 10月12日 ブラジル国佐賀県人会より佐賀県へ寄贈された「紫水晶」を展示
- 10月21日 銚島直泰氏御夫妻「若楠国体芸術展」ご観覧。
- 10月22日 天皇陛下、皇后陛下、「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館
- 10月29日 高松宮殿下、高松宮妃殿下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館
- 10月30日 移動博物館を北波多村公民館にて開催（31日まで観覧者数 493名）
- 11月8日 「若楠国体芸術展」終了（総観覧者数 17,069名）
- 11月19日 国立歴史民俗博物館 岡田茂弘氏来館
- 11月20日 「佐賀県美術展」開場
- 11月23日 移動博物館を北方町公民館にて開催（25日まで、総観覧者数 854名）
- 11月28日 「佐賀県美術展」終了（総観覧者数 9,937名）
- 12月1日 「佐賀県高等学校美術展」開場
- 12月2日 国立民族学博物館 谷口康昭氏、本田信一氏来館
- 12月5日 常設展「佐賀県の歴史と文化展」開場
「佐賀県高等学校美術展」終了（総観覧者数 1,205名）
- 12月10日 「佐賀県学童美術展」開場
- 12月14日 「佐賀県学童美術展」終了（総観覧者数 1,370名）
- 12月18日 「教職員美術展」開場
- 12月23日 「教職員美術展」終了（総観覧者数 551名）
- 12月28日 執務納め
- 52年
- 1月4日 執務始め

- 1月5日 「九州グラフィックデザイン展」開場
- 1月9日 「九州グラフィックデザイン展」終了（総観覧者数 775名）
- 1月11日 前間満幸氏（太良町）から、竹崎海底火山、火山弾（約1トン）寄贈。
- 1月15日 「九州の原始文様展」開場。「成人の日」のため常設展無料公開
- 1月25日 福岡市立歴史資料館長 三島格氏来館
- 1月29日 第2回博物館協議会開催
- 1月30日 「九州の原始文様展」記念講演会
「縄文時代における西北九州と大陸との交流について」
講師 慶應義塾大学教授 江坂輝弥氏
- 2月4日 文化庁文化財鑑査官坪井清足氏来館
- 2月21日 相知町せせり谷出土経文修理完成
- 2月24日 「九州の原始文様展」終了（総観覧者数 3,570名）
51年度常設展「佐賀県の歴史と文化展」終了（51年度総観覧者数 13,136名）
- 3月5日 「肥前の近世絵画展」開場
「肥前の近世絵画展」記念講演会
「九州の文人画と洋風画について」
講師 九州芸術工科大学教授 岸田勉氏
「近世絵画の流れについて」
講師 帝塚山大学講師 狩野博幸氏
- 3月6日 「城秀男教授退官記念展」開場
- 3月10日 「城秀男教授退官記念展」終了（総観覧者数 1,616名）
- 3月12日 「土肥春嶽教授退官記念展」開場
「肥前の近世絵画展」記念講演会
「雲谷等顔とその時代」
講師 大阪大学教授 武田恒夫氏
- 3月16日 「土肥春嶽教授退官記念展」終了（総観覧者数 2,060名）
- 3月18日 「佐賀大学卒業制作展」開場
- 3月21日 「佐賀大学卒業制作展」終了（総観覧者数 681名）
- 3月22日 第3回博物館協議会開催
- 3月23日 国立科学博物館 村山定男氏来館
- 3月25日 「勤労者美術展」開催
- 3月27日 海城学園理事長 古賀博氏来館
- 3月29日 「勤労者美術展」終了（総観覧者数 986名）
- 3月30日 「肥前の近世絵画展」終了（総観覧者数 3,505名）

3. 規模および施設

規 模

(1) 本 館	構 造	鉄筋コンクリート造 3階建
	規 模	敷地面積 30,962.0m ² (公園を含む)
		建築面積 2,149.1m ²
		延床面積 4,630.8m ²
(2) 茶 室 (清恵庵)	構 造	木造平屋建
	規 模	床 面 積 57.35m ²

施設概要

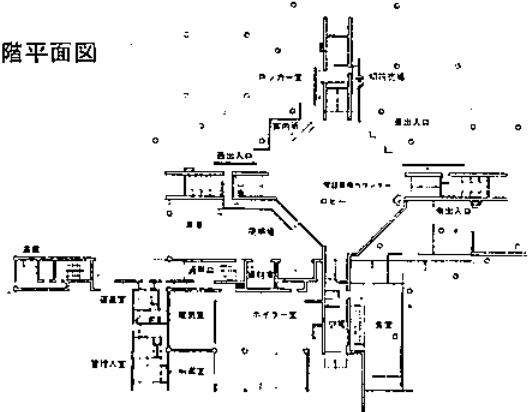
ロビー

(案内所、常設展受付)	349.5m ²
1号展示室	193.6m ²
2号展示室	352.0m ²
3号展示室	484.0m ²
大 展 示 室	523.5m ²
中 展 示 室	136.0m ²
収蔵庫並整理室	392.5m ²
研究室(ガス、水道つき)	66.0m ²
事 務 室	80.0m ²
館長室、応接室	60.0m ²
資料調査室	64.0m ²
撮 影 暗 室	24.0m ²
車 庫	56.0m ²
荷 解 場	86.0m ²

電 气 室 48.0m²

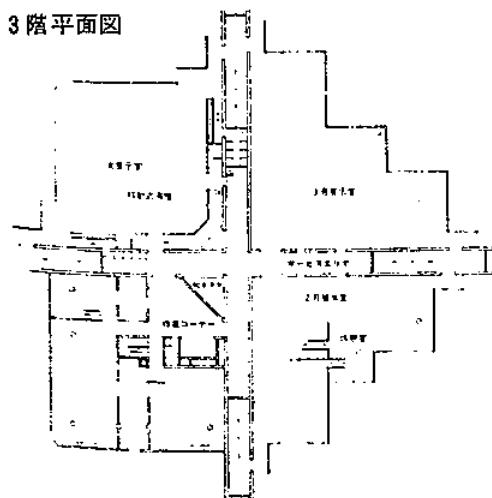
ボイラー室(制御室を含む) 181.0m²

1階平面図

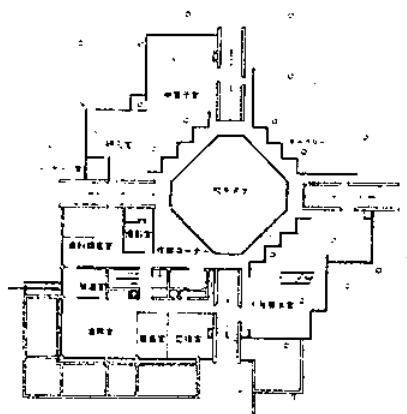


平 面 図

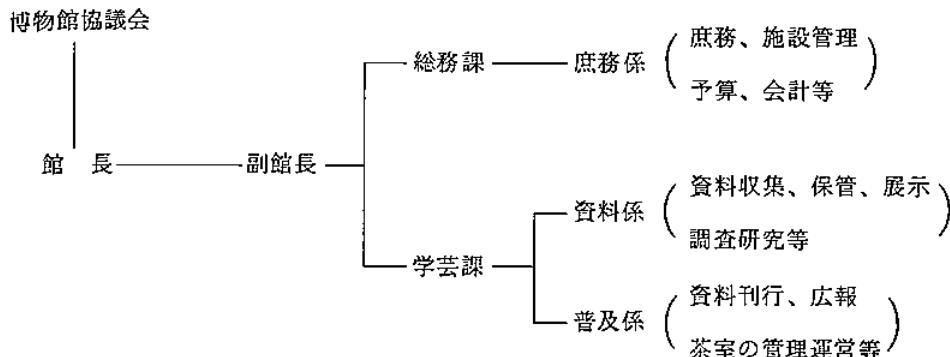
3階平面図



2階平面図



4. 組織



職員名簿 (52. 3. 31現在)

館 長	大 園	弘
副 館 長	小 森	清
総 務 課 長 (事務取扱)	小 森	清
庶 務 係 長	酒 見	四 郎
主 事	松 永	豊 子
"	小 林	静 枝
技 術 員	穢 月	勝 次
技 師 (兼務)	江 口	実 次
事 務 員 (守衛)	坂 井	卓 次
"	小 石	武 彦
" (自動車運転 兼用務員)	竹 下	仁 三
学 芸 課 長	手 塚	静 雄
資 料 係 長	尾 形	善 郎
学 芸 員 補	佐 形	憲 彦
学 芸 員 補	森 遼	一 朗
学 芸 員 補	小 杉	道 久
学 芸 員 補	三 輪	英 夫
非 常 勤 嘱 託	永 竹	威 威
"	久 浜	保 野
"	手 塚	儀 四
普 及 係 長 (事務取扱)	(本務学芸課長)	静 雄
主 事	池 田	栄 意 子
"	徳 永	朗 朗

人 事 異 動

昭和51年4月1日付

○転 出

学芸課普及係主事 音成昭道、佐賀県立ろう学校主事
へ

○転 入

学芸課普及係主事 徳永 朗、神埼郡仁比山小学校主
事より

昭和51年5月1日付

○退 職

総務課庶務係主事 中村やを

○転 入

総務課庶務係主事 松永豊子、佐賀土木事務所より

5. 博物館協議会

委員名簿(定員15名)

(昭和52年3月31日現在)

種別	氏名	現職名	住所
学校教育 会員 教育 関係	高添門司	佐賀県公民館連合会会长	伊万里市大川町大川野
	掛林貞夫	多久市教育長	武雄市宮野町7班
	渕ノ上友規	佐賀県立盲学校長	佐賀市天祐1丁目8-5
	下平恒男	伊万里小学校長	伊万里市松島町395
学 識 経 験 者	星野英夫	祐徳博物館長	鹿島市城内
	内山良男	佐賀大学名誉教授 佐賀食文化研究所会長	佐賀市本庄町5本杉16
	村山宅美	佐賀女子短期大学教授 佐賀真理科教育振興会会長	佐賀市北川副町木原4本柳
	三好不二雄	佐賀大学名誉教授	佐賀市赤松町11-11
	石本秀雄	佐賀大学名誉教授 佐賀美術協会理事長	佐賀市中の小路9-29
	岸田勉	九州芸術工科大学教授	久留米市津福本町931の4
	岡崎敬	九州大学文学部教授	福岡市東区香住ヶ丘3丁目20-15
	米倉利昭	佐賀大学教育学部教授	佐賀市本庄町大字本庄528-1
	平田寛	九州大学文学部助教授	福岡県宗像郡宗像町日の里5丁目3-35
	大川兄弟	佐賀県議会議員	三養基郡上峰村坊所681
	西村重雄	佐賀新聞社編集局長	神埼郡千代田町境原387の2

協議会開催状況

第1回 (51・8・30)

- 議題
- (1) 昭和50年度事業報告
 - (2) 昭和51年度予算について
 - (3) 昭和51年度事業計画
 - (4) 昭和52年度展示計画(案)
 - (5) その他

第2回 (52・1・29)

- 議題
- (1) 昭和52年度当初予算要求について
 - (2) 昭和52年度展示計画について
 - (3) 昭和51年度事業経過報告
 - (4) その他

第3回 (52・3・22)

- 議題
- (1) 昭和52年度当初予算案について
 - (2) 昭和52年度展示計画について
 - (3) 昭和51年度事業経過報告
 - (4) その他

6. 昭和51年度歳出予算

昭和51年度歳出予算一覧

科 目	予算額(単位千円)
1. 博物館運営費	39,618
管理運営費	38,556
会議及び研修費	654
博物館協議会費	408
2. 資料整備費	22,773
資料購入費	18,378
資料整備費	4,395
3. 研究調査費	1,284
研究費	332
調査費	952
大陸文化交流史	402
風化してゆく歴史資料調査	100
東西松浦半島洞穴発掘調査	302
桃島山発掘調査刊行費	550
4. 特別企画展	5,992
九州の原始文様展	2,144
肥前の近世絵画展	3,848
5. 常設展示費	1,679
6. 普及事業費	668
研究講座費	40
巡回展示費	40
資料刊行費	588
7. 茶室管理運営費	877
計	72,891

事 業 の 概 況

1. 常 設 展

佐賀県の歴史と文化展

主 催 佐賀県立博物館

会 期 前期 昭和51年4月1日～昭和51年8月15日

後期 昭和51年12月5日～昭和52年2月24日

会 場 前期 1・2・3号展示室

後期 中・回廊・1・2号展示室

観覧料 ●個人

大人50円 大・高生30円 中・小生20円

●団体(20名以上)

大人30円 大・高生20円 中・小生10円

出 品 目 錄

1. 前 期 (51・4・1～8・15)

自然史(1号展示室)

●鳥類

スズメの仲間 キツツキの仲間

ワシ・タカの仲間 シギの仲間

キジ・ヤマドリの仲間

海鳥の仲間 陸性水鳥の仲間

カラスの仲間 サギの仲間

ガン・カモの仲間など86点

●始祖鳥の化石(標本)

●初展示物

マナヅル オジロワシ ミサゴ

●野鳥生態写真(10枚)

●巣(コゲラ) ●巣箱(シジュウガラ用)

考 古 (2号展示室)

①先土器時代

サヌカイト、黒曜石の原石

三年山・茶園原遺跡出土の石器類

切立遺跡・伊古石遺跡出土の細石器類

●土生遺跡出土農耕具、炭化米、土器類

樺島山遺跡、東宮裾遺跡、横田遺跡出

土の船載鏡や刀剣類

大友遺跡出土のカメ棺及び貝釧類

②縄文時代

白陀山岩陰遺跡出土の土器、石器類

坂の下遺跡出土の土器、石器類

③弥生時代

④古墳時代

久蘇遺跡、伊勢山遺跡出土祭祀遺物類

熊本山・関行丸古墳出土鏡、装身貝類

勇猛山・東十郎古墳出土の武具、日常

雑器類	県内各地出土の経塚出土品
⑤歴史時代	古瓦類
<hr/>	
歴史・美術・工芸（3号展示室）	
①仏像	
1.聖観音立像（重文、模造、東妙寺）	1.洪浩然筆 古詩屏風
2.帝釈天立像（重文、常福寺）天部立像	2.古賀精里筆 古詩屏風
3.阿弥陀如来坐像（県重文、大興寺）	3.枝吉神陽筆 發生方文屏風
②仏画	4.古賀穀堂筆 古詩屏風
1.阿弥陀八大菩薩図像	5.中林梧竹筆 梧桐図屏風 虹図屏風 竹図屏風 莖図屏風
2.善財童子歴参図像	唐詩六選屏風 聰書額
3.釈迦三尊比丘図像	二行書屏風
4.不動明王三尊図像	
③甲冑、武具	
1.紺糸威桶側二枚胴具足	⑤陶磁器
2.紺威二枚胴具足	1.岸嶽古唐津系壺
3.笙蒔絵鞍鎧、軍配采配蒔絵鞍鎧	2.武雄古唐津系壺など4点
4.初代忠吉刀、6・7代合作刀	3.初期伊万里系瓶、皿類など5点
初代正広脇差、初代国広刀	4.柿右衛門系、壺、鉢類など5点
④先覚者書画	5.鍋島藩窯系皿類など5点
6.古伊万里系、古伊万里人形など7点	
<hr/>	
2.後期(51・12・5～52・2・24)	
自然史（中展示室）	
・岩 石	カネコシダ ヒシ類など59点
・佐賀県の岩石	・エヒメアヤメの生態模型
珪石、火山彈（竹崎）	・ヤクスギの断面
石灰岩、球状せん緑岩	・鳥 類
真珠岩、陶石など13点	・佐賀県の鳥類
・紫水晶（ブラジル、ミナスゼライス州 産）	カラスの仲間 ワシ・タカの仲間 フクロウの仲間 ツグミの仲間 キジ・ヤマドリの仲間
・植 物	マナヅル コサギ クロサギ アオサギ
・佐賀県の植物標本	
サルノコシカケ エヒメアヤメ	

民 俗（中展示室、回路）

・織機関係

足踏綿くり機 木綿機
糸車 糸巻など22点

・有明海漁撈用具

素板 スポカキ 押オケなど6点

考 古（1号展示室）

①先土器時代

尖頭器 台形石器など

②縄文時代

石器類（県内各地出土、石槍など）
土器類（坂の下、西有田盗人岩出土の
土器片など）

③弥生時代

石包丁、炭化米、土器類
鏡類（方格規矩鏡など） 金印

貝釧、銅釧、木器類

青銅器類（銅剣、銅戈など）

④古墳時代

土器類（土師器、須恵器）
武具（短甲、直刀など）
装身具（内行花文鏡、管玉、耳環など）
農具（手斧、鉄斧、鎌など）
永池古墳壁画 装飾古墳壁画模写

歴史・美術・工芸（2号展示室）

①仏像

聖観音立像（複製東妙寺）
阿弥陀如来坐像（大興寺） 水上の懸
仏
阿弥陀如来坐像、天部立像（三学寺）
円鑑禪師坐像（木造、重・文、高城寺）

東妙寺古図、普賢延命菩薩騎象像、枳迦
三尊及び比丘像、阿弥陀八大菩薩像、善
財童子歴参図、楊柳観音像、不動明王三
尊図像、法隆寺金堂壁画、阿弥陀三尊図
(模写)

②経筒

脊振山経塚出土用品、崇判山経筒（北
方町）
山崎経塚出土品（多久市）
仏法堤経塚出土品（太良町）

⑥絵画

- 1.百武兼行 老婦人像
マンドリンを持つ少女
- 2.久米桂一郎 フランス風景
リンゴ拾い
- 3.小代為重 肖像
テームズ河畔
少女
- 4.岡田三郎助 若き娘の顔
バラ
- 5.山本芳翠 帆船
- 6.斎藤与里 婦人像

③写経

大磐若経写経

④仏具

青銅鉢（天山神社）
如意・経箱・説明箱（実相院）
⑤仏画

- 7.青木繁 夕焼けの海
　　織月帰舟
　　木下秀康大尉像
　　男の像 など6点
- 8.海老原喜之助 衣を与う
- 9.藤原武二 風景 裸婦
- 10.高木背水 風景
- 11.山口亮一 風景
- 12.川村清雄 御所車
- ⑦陶磁器
- 1.古唐津系
　　蛤釉叩壺、絵唐津深向付など6点
- 2.古伊万里系
　　染付唐草文瓶、染錦婦人像など10点
- 3.柿右衛門系
　　色絵岩牡丹文小壺、色絵花鳥図皿、
　　色絵花蝶図輪花形深鉢など7点
- 4.鍋島藩窯系
　　色鍋島更紗文高台皿、色鍋島芥子図
　　皿など7点



2. 企画展

(1) 日本伝統工芸秀作展

(同時開催、第22回日本伝統工芸展佐賀県入選者展)

主 催 日本伝統工芸秀作展佐賀展実行委員会

佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

佐賀県陶芸協会

後 援 文化庁

県文化団体協議会

佐賀美術協会

各報道機関

会 期 昭和51年5月23日～6月6日

会 場 3号展示室

観覧料 無料

講演会 5月23日

講師 武蔵野美術大学教授

水尾比呂志

演題 「手仕事と現代」

映画上映

5月23日 色鍋島、蒔絵

29日 蒔絵、色鍋島

30日 唐津、手漉和紙

6月5日 有職織物、唐津

6日 色鍋島、蒔絵



展示概況

過去22回におよぶ日本伝統工芸展の秀作品の中から112点を展示し、出品の中には、国の重要無形文化財技術保持者（人間国宝）、技術保存団体の代表者などの秀作の特別出陳であるだけに、各方面より期待され、現代の伝統工芸の全貌を鑑賞するのにこの上もない機会であった。

出品点数 陶芸37点 染織22点

漆芸21点 金工21点

木竹8点 人形3点

(県内出品者) 中里無庵、12・13代酒井田柿右エ門、12・13代今泉今右衛門、奥川忠右エ門、鈴田照次

(2) 第59回佐賀美術協会展

主 催 佐賀美術協会

佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

会 期 昭和51年6月16日～6月20日

会 場 3号、大展示室

観覧料 無料

展示概況 日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門にわたって

一般公募を行い、その入選作と会員作品を合わせて200点展観した。

出 品 目 錄 (受賞作、会員作のみ)

日本画

知事賞	新緑	小柳為次郎
佳作	金城の石道	多久竜太郎
県教育委員会賞	黄昏	西岡 一義

洋 画

納富進賞	ゴトンゴトン	中尾 和紀
佐賀市長賞	曲芸B	真島健児郎
佳作	樹木	成清 泰男
山口亮一賞	暗	池田 恒彦
美協賞	堺 (いらか)	永田 秀孝
佳作	群れ	深川 直人
美協賞	朝市LAST	執行 安正
佳作	港 (I)	高木 和安
県教委賞	老	前川 直文
佳作	少年	塙本猪一郎
佳作	モンマルトル遠望	田中 一利

武藤辰平賞

高柳種行賞

県知事賞

佳作

工場の隅

自転車 (II)

石の花

サーカスの人達 I

大島 治

陣内 浩

朝長 恵子

山口 幸弘

彫 刻

佳作

佳作

県議会議長賞

君子

首 1

男の首

松本 孝治

松尾 浩二

山崎 恵一

工 芸

県知事賞

佳作

県教育委員会賞

スイートピー

早春

巻跡

中玉 利要

大庭キミ子

大宅 恒博

佳作

県文化団体費

白濁釉花器

青白磁壺

型絵染帯

鳥井 義信

庄村 健

(あわだち草)

佳作

美術協会賞

下村 ツヤ

渢

東島 広義

会 員 作 品

日本画

滝川	納富 未由 (審)
編む	中山 敦
朝焼け	岩永 京吉 (審)
火口湖	諸田 和彦

薔薇

女の夢

梅林

公園の晩秋 (パリ)

窓辺の花

緒方 保男

上滝 泰嗣 (審)

兵動 健吾

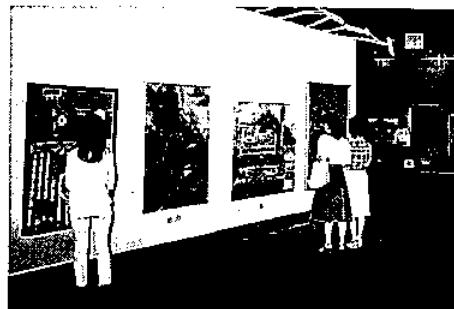
田崎 恵之

鶴 義男

洋 画

モスクワの朝

山口 孝行



パゴダのある風景	土師 一也	カレル	真子 達夫
吹上早春	菊池 義泰	白馬の春	古川 誠逸
堀端の初夏	牟田口貞夫	彫 刻	
静物	北島 兵一	裸婦	古賀 義治
冬の蓮堀	中原儀四郎	新緑	武藤 三男 (審)
朝市 2	毛藤 忠	シカリの子	成富 広
少女	岩永 光正	エチュード	服巻 栄児
窓辺の女	久富 邦夫	作品	山本 民二 (審)
菊池渓谷	深川 善次 (審)	工芸	
由布岳	野中 勝正	白磁角壺	県 有
くらしきと子供	高柳 博	海構	鈴田 浩 (審)
秋	蒲原 密雄	色鍋島繪文額皿	今泉今右エ門
東洋の壁 (真如の都)	水落 光博	大鉢	斎藤 勉
回れ観覧車	平川 経高 (審)	有明の詩	小川 泰彦
むつごろう	富崎長太郎	しまの構成	城 秀男
テレフォンボックス	永原 美朗	壺	中村 清見
花	多久島純子	染付瓶	草場 正人
農村風景	江口 孝徳	塩釉吳須流文陶鉢	丸田 正美
曙光	大久保孝夫	本版摺更紗屏風	鈴田 照次
婦人座像	深草 廣平	釉裏銘 花壺	小野 珀子
秋色	宮崎 繁樹	輪の鉢	宮尾 正隆
海苔舟	筒井 茂雄	蛹抜秋草文絵皿	江口 勝美
牛頭	吉田 進一	ツボ「暁」	外尾 博直
おんな その 3	光武 洋	豊韻	青木 稔雄 (審)
鯉のぼりをあげよう	金子 剛 (審)	裂	辻 敏彦
海	音成 三男	愁	辻 貞男
ヨット	藏榮 貞勝	青白地五方割花瓶	樋渡 陶六
高原の雲 一九重一	若林 景光	三島手印花文花瓶	松本 平
愁	川本 達也	嶺	田中 一
花	杉本 弘子	型絵染帯「花」	相川 紀子
夜	杉本 好守 (審)	型絵染帯「萩」	平坂 純
雲と街の風景	副島 行高	型絵染帯「初秋」	鶴丸 慶子
栗	坂田 昭雄	辰砂面取花瓶	中島 均
晩秋の田園	竹下 泰彦	青白磁彫文花器	井上 萬二 (審)
雨後	吉田 昭彦		

(3) 第1回佐賀県書作家協会展

主 催 佐賀県書作家協会、佐賀県立博物館
後 援 佐賀新聞社
会 期 昭和51年7月15日～20日
会 場 大展示室
観 覧 料 無料
展 示 概 况



本年2月発足した県書作家協会が企画した第1回の展示会で、会員展と一般公募展であって、それぞれ漢字、仮名、墨象、近代詩文、篆刻等が出品された初めての試みであった。

出 品 点 数

- ・会員作品、 65点（会員は71名）
- ・公募作品、 79点
- 計 144点

・一般公募の部優秀者氏名

協会賞 (2名)

塚元 晴子 時鳥 (佐賀市)

野中 勝敏 漢詩 (〃)

奨励賞 (3名)

堤 幸雄 王安石の詩 (佐賀市)

高塚 敏子 近代詩 (三日月町)

米倉千鶴子 和歌一首 (佐賀市)

秀作賞 (7名)

山田 文子 月下独酌 (大和町)

中島 紫雲 消暑 (北茂安町)

杵島 昭子 関戸 古今 (鳥栖市)

木須 龍石 雨篷 (白石町)

佐藤 有子 唐詩 (小城町)

辻 青玄 断 (唐津市)

永代 綾舟 李白の詩 (多久市)

(4) 佐賀県七夕書道展覧会

主 催 佐賀県書道教育連盟
佐賀県立博物館
援 助 佐賀県教育委員会

佐賀県文化団体協議会

会期 昭和51年7月22日～27日

会場 大展示室

観覧料 無料

展示概要

県内小・中・高校の児童生徒及び一般の毛筆作品約3,500点のうち約250点を展示した。とくに、小・中学校児童生徒の作品は7月13日の水害のため特選以上の作品の展示にとどめた。

入選者氏名

知事賞（10名）

そえじまあや	(赤松小1年)
宗田百合子	(多久東小2年)
須田 ちか	(佐大付小3年)
改田いく子	(西川副小4年)
倉塚ひろ子	(嬉野小5年)
栄岩 美佳	(高木瀬小6年)
鷲崎真由美	(川副中1年)
馬場 直子	(有田中2年)
川浪由美子	(川登中3年)
野中 嘘風	(佐賀一般)

県教委賞（10名）

いまいすみまさこ	(有田中小1年)
吉武いすみ	(諸富北小2年)
下田よう子	(嬉野小3年)
副島 美穂	(赤松小4年)
稻富 弘人	(高木瀬小5年)
改田 智子	(西川副小6年)
中島 信一	(城北中1年)
北川 洋子	(嬉野中2年)
松尾 美紀	(有田中3年)
飯盛 桂雲	(佐賀一般)

県立博物館長賞（10名）

くさのたかのり	(嬉野小1年)
岩永わかこ	(高木瀬小2年)
黒髪雄一郎	(高木瀬小3年)

藤井 幸子 (有田小4年)

坂田 晃一 (西川副小5年)

池田 恵子 (鹿島小6年)

藤井 良泰 (城北中1年)

池田 瞳子 (嬉野中2年)

吉田 妙子 (嬉野中3年)

野中 瑛碩 (佐賀一般)

県文化団体協議会賞（10名）

うちだそうこ	(高木瀬小1年)
よしだみか	(本庄小2年)
山村てつや	(多久北小3年)
大坪 広子	(三根西小4年)
宗田 俊博	(多久東小5年)
内田ヨウ子	(春日小6年)
米倉 由美	(城北中1年)
大坪 知代	(川副中2年)
伊藤 千秋	(城北中3年)
田中 石楠	(太良一般)

県書道連盟賞（10名）

吉田さちこ	(諸富南小1年)
柴田あきら	(嬉野小2年)
副島やよい	(嬉野小3年)
実松ひとみ	(高木瀬小4年)
山口 昌也	(有田小5年)
坂田恵美子	(西川副小6年)
倉塚 智子	(嬉野中1年)

山口 有久 (相知中 2 年)
青木智佳子 (嬉野中 3 年)

北村 昌子 (鹿島一般)

(5) 柿右衛門名品展

主 催 佐賀県

佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

朝日新聞社

後 援 有田町、有田町教育委員会

佐賀市、佐賀市教育委員会

佐賀県陶芸協会

会 期 昭和51年 8月29日～9月26日（9月18日休館）

会 場 2・3号展示室

観覧料 大人 大高生 中小生

個人 300 200 100

団体 250 80 50

図 錄 2,000円

講演会 会場 大展示室

講師 佐賀県文化財保護審議会委員

永 竹 威 氏

第1回 9月5日

近世工芸の装飾性

～肥前磁器の意匠と絵模様～

第2回 9月19日

肥前陶磁研究の問題点

～古伊万里と古九谷論争、藩窯のなぞ～

第3回 9月25日

東西窯芸の交流

～肥前磁器の国際性～

展 示 概 况

江戸前期に色絵の技術を中国から導入し、江戸全期を経て、現代まで伝承されている柿右衛門にゆかりの深い名品、名器を中心、歴史資料もあわせて展示した。

なお、9月18日皇太子殿下、皇太子妃殿下のご観覧をたまわった。

A群 近世時代を背景とした日本磁器の創成期の資料

- B群 白磁、青磁染付、色絵磁器の紹介
C群 肥前磁器の3様式と関連資料
D群 白本色絵磁器の系譜
E群 江戸前期から江戸後期の柿右衛門様式の伝世品を意匠形状分類を基軸として、品性別に時代別、技術別に展示。
F群 柿右衛門家の文書類、注文控など
G群 柿右衛門窯の製陶資料
H群 江戸期の土型を利用した複元磁器
I群 柿右衛門系とその傍系の下南川原山古窯跡群よりの出土資料など。
J群 海外諸窯の柿右衛門様式の倣製品。
- 出 品 点 数
各品 150点
参考資料 35点

(6) 若楠国体芸術展

主 催 (財) 日本体育協会

文部省

佐賀県

主 管 第31回国民体育大会佐賀県実行委員会

佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

会 期 昭和51年10月10日～同11月8日（10月22日休館）

会 場 第1部 2号・3号展示室

第2部 大展示室

観 覧 料 無料

図 錄 第1部「肥前歴史の旅 佐賀400年をたずねて」

カラー写真4枚、モノクロ写真400枚、解説付約170頁、価格1,200円

出品目録 第2部「現代佐賀美術秀作展」

モノクロ写真8点、12頁、無料

展 示 概 要

第1部 「肥前歴史の旅 佐賀400年をたずねて」

竜造寺隆信時代から幕末維新に至る肥前の歴史と人物及び伝統工芸を中心に、佐賀県が日本の歴史に果した役割を紹介した。展示会場は2号展示室に歴史部門、3号展示室に伝統工芸、絵画、遺墨をあて、歴史部門109件458点、工芸部門77件77点、絵画部門12件12点、郷土の先覚者部門16件16点

計214件563点を展示した。なお10月22日天皇陛下、皇后陛下、10月29日高松宮殿下、高松宮妃殿下のご観覧を賜わった。観覧者数17,069人で全国各地からみえた。

第2部 現代佐賀美術秀作展

今日の佐賀の美術水準を示す内容の作品を大展示場に展示し、県民各層は勿論国体参加のため来県した全国の人々に佐賀の芸術文化の理解の一助とした。

出品内容は日本画4点、洋画24点、彫塑5点、工芸19点、書4点、写真9点、宣伝美術8点計73点であった。

第1部 出品目録

歴史

番号	品 名	数量	規 格
I 藩政成立の前後			
肥前名護屋城の築城			
1	名護屋城跡出土瓦	3	五三桐紋軒丸瓦1. 径30.0 巴紋軒丸瓦1. 径18.6 五三桐紋軒丸瓦1. 径15.0
2	肥前名護屋城図屏風	1	6曲1隻、紙本淡彩、157.0×350.2
3	菊桐紋蒔絵什器類	(6)	
3-1	角盤、棊一具	2	角盤高29.0 径38.0 棊高18.0 径12.0
3-2	菊桐紋蒔絵桶杓子、盤類	4	桶高36.0 径51.0 柄桶高48.0 径39.0 盤高27.6 径74.0 杓子高 8.6 径14.5
4	高麗陣立書	1	墨書1紙 46.0×157.5
5	鍋島直茂頤文	1	" 45.1× 29.6
6	豊臣秀吉朱印状	1	" 44.8× 65.0
7	豊臣秀吉禁制	1	" 45.0× 66.5
8	高麗陣成富茂安組着到	1	折紙10枚綴 17.5×37.0
9	朝鮮役従軍日記 明琳是琢筆	1	紙本墨書、巻軸 17.5×240.0
10	朝鮮國礼曹存房刷還諭告文	2	紙本墨書、軸装 各101.7×66.1
11	慶長肥前国絵図	1	紙本着彩、軸装 23.4×24.9
12	竜造寺隆信画像	1	絹本着色、軸装 97.2×40.8
13	竜造寺隆信自筆書状	1	紙本墨書 24.2×39.6
14	竜造寺隆信着用の鎧	1	兜鉢高20.0 胴高44.0
15	鍋島直茂着用の鎧	1	兜鉢高15.0 総高76.0
16	鍋島直茂画像	1	絹本着色、軸装 84.5×41.0
17	鍋島直茂自筆書状	1	紙本墨書 46.3×29.0

番号	品 名	数量	規 格
II 藩政期の文教			
聖堂（廟）と学問			
18	鬼丸聖堂の三聖像	3	孔子像、銅製、高62.0 脇像、木製、高60.0
19	天縱殿扁額	1	木製、80.0×55.0
20	文廟記 多久茂文筆	1	紙本墨書、巻軸 34.5×390.0
21	多久聖廟 写真	1	
22	東原庠舎学制	1	紙本墨書、巻軸 38.5×397.4
23	古賀精里筆 二字書	1	紙本墨書、軸装 117.0×63.0
24	弘道館間取図	1	紙本墨書、軸装 174.0×46.5
25	弘道館蔵印書籍	15	
26	成章館扁額	1	木製、55.0×126.0
はがくれ			
27	葉隱聞書写本（山本本）	11	紙本墨書、和綴 26.5×19.7
28	" (小山本)	6	" " 27.2×18.4
29	" (五常本)	5	" " 25.8×17.7
30	" (孝白本)	5	" " 26.5×19.0
31	愚見集	1	" " 25.6×17.5
32	山水図自画贊 山本常朝筆	1	紙本墨書、軸装 72.3×35.3
III 幕末の佐賀			
①長崎港警備と海軍伝習			
33	長崎築堡填海工事絵図 阵内松齡筆	1	紙本着色、軸装 57.0×131.5
34	フェートン号絵図	1	紙本着色、額装 65.5×74.5
35	安政期の長崎港	1	紙本着色、軸装 178.5×95.5
36	長崎港鳥瞰図	1	紙本着彩、軸装 231.0×108.0
37	神之島図	1	紙本着色1紙 83.0×137.0
38	伊王島台場図	4	紙本着色1紙 26.0×37.0
39	異国船風俗器物見取図	1	紙本着色、巻軸 36.0×50.0
40	白帆注進録 秀島成忠筆	1	紙本着色、綴本 39.5×27.0
41	観光丸模型	1	木製、全長140.0 高65.0
42	佐賀藩製造蒸気船雛型（外輪）	1	全長68.2 全高52.5
43	佐賀藩製造蒸気船雛型（スクリュー）	1	全長87.0 全高67.5
44	凌風丸運行絵図 秀島成忠画譜	1	紙本着色、軸装 52.5×81.5

45	忠宣公蘭艦乗込絵図 古川松根筆	1	紙本着色、巻軸 30.0×1582.0
46	長崎海軍伝習所絵図 陣内松齡筆	1	紙本着色、軸装 119.0×166.5
47	佐賀藩三重津海軍所絵図 陣内松齡筆	1	紙本着色、額装 82.0×168.0
② 科学技術の開明			
48	佐賀藩製造蒸気車雛型	1	全長 39.7 全高 31.2 軌間 14.3
49	萩藩蒸気車雛型「興丸」	1	全長 20.5 全高 25.45 軌間 6.8
50	機関車模型「ナポレオン号」	1	全長 56.0 全高 37.6 軌間 15.3
51	精煉方絵図 陣内松齡筆	1	紙本着色、額装 75.5×123.0
52	篠隆氏合薬舎密	6	筆書き写本 26.5×19.2
53	ウイットステイン氏製薬化学書	1	版本 23.4×14.0
54	トンメス分析表	1	筆書、折本 64.8×38.5 (76.5×64.5)
55	舎密便覧	14	版本 63.0×47.0 (23.7×16.0)
56	泰西炮術集要大全 セツセレル原著、田口道一訳	13	和綴、筆書き 26.0×19.4
57	精煉方使用の真空ポンプ	1	真鍮製 全長 42 全高 35 幅 21.5
58	精煉方銘徳利	3	No.1 高 30.0 口径 6.2 No.2 高 26.5 口径 6.5 No.3 高 25.5 口径 6.0
59	試験用具	3	No.1 高 29.3 No.2 高 21.5 No.3 高 37.5 磁器製
60	精煉方試薬	3	No.1 6×6×15 No.2 3.7×3.7×9.0 No.3 3.0×3.0×8.5 ガラス瓶入
61	トントル版本	1	版木 13.0×17.0
62	渾 地 図 (江戸時代初期)	1	紙本着彩 61.0×76.0
63	世 界 図 (江戸時代初期)	1	紙本着彩 87.0×160.0
64	司馬江漢作 地球全図	1	銅板筆彩、軸装 各 51.5×41.6
65	分度之規矩	1	真鍮製 径 34.7
66	渾 天 儀	1	木製 全高 37.7 球径 32.5
67	須 弥 山 儀	1	桐縁木製 全高 47.2
68	六 分 儀	1	真鍮製 全高 25.0 幅 27.0
69	オランダ製顕微鏡	1	真鍮製、全高(台を含む) 28.3
70	イギリス製顕微鏡	1	真鍮製 全高 27.6 台径 13.6
71	天体望遠鏡	1	真鍮製 全長 125.5
72	エレキテル (摩擦起電器)	1	木製 全高 54.6 (台 33.5×16.5 高 2.5)
73	望 遠 鏡	2	真鍮製 No.1 全長 114.2 No.2 全長 85.5
74	天 球 儀	1	全高 35.0 球径 23.0
75	地 球 儀	1	全高 35.0 球径 23.0
76	武雄邑鋳造カノン砲	1	青銅製、全長 140.0 柄長 113.5 口径内径 7.0 5条入

77	佐賀藩鋳造24ポンド鉄製カノン砲	1	全長 296.5 砲口内径 14.7
78	天保6年製臼砲	1	青銅製 内径 20.0 全長 56.2 柄長 47.0 (薬室を含む)
79	築地石火矢鋲立方絵図 秀島成忠筆	1	紙本着色、軸装 65.0 × 96.0
80	多布施公儀石火矢鋲立所絵図 阵内松齡筆	1	絹本着色、軸装 67.0 × 85.0
81	いそ反射炉絵図	1	紙本着彩、1紙 41.5 × 80.5
82	直正公品川砲台巡視絵図 阵内松齡筆	1	紙本着色、額装 84.0 × 183.5
83	佐賀藩兵上野影義隊砲撃絵図 秀島成忠筆	1	紙本着色、軸装 81.0 × 110.0
84	洋式大砲設計図	1	紙本墨書、巻軸 26.2 × 1210.0
85	蘭式兵器設計図	1	紙本墨書、巻軸 23.0 × 600.0
86	西洋鉄噴鋳造篇 手塚謙蔵訳	11	墨書、和綴 23.6 × 16.4 (1)~(3) 24.9 × 16.6
87	大小銃製造録	6	墨書、和綴 (4)~(6) 26.5 × 19.0
88	公儀御用石火矢鋲立記	1	墨書、和綴 23.8 × 16.5

◎ 洋学の発達

89	武雄鍋島家藏蘭書	138	
90	ショメール家事百科辞書	16	洋書、活字本 26.5 × 21.5
91	ゼーアル 萩府天文台訳員訳	21	墨書、和綴 26.0 × 11.8
92	レイドタラード 大庭雪斎訳	19	墨書、和綴 25.0 × 16.5
93	譯和蘭文語 大庭雪斎訳	5	版本、和綴 26.0 × 18.2
94	算字算法基原或問 大庭雪斎訳	3	墨書、和綴 23.5 × 16.2
95	体液究理分離則 大庭雪斎訳	2	墨書、和綴 24.6 × 17.5
96	民間格致問答 大庭雪斎訳	6	版本、和綴 22.5 × 16.0
97	シーボルト肖像 川原慶賀筆	1	着彩
98	シーボルト医療器具	4組	
99	伊東玄朴肖像	1	
100	医療正始	6	和綴、版本 26.0 × 18.2
101	伊東玄朴手澤和蘭字典	2	和綴、筆書 26.0 × 18.7
102	山村良哲資料	15	
103	山村良哲手製顕微鏡	1	木製、全高 32.5 (蓋を含む) 円台径 9.0
104	医制略則草案	1	墨紙綴本、筆書 29.0 × 19.5
105	好生館所蔵医学校本	20	
106	和蘭字彙	4	和綴、版本 25.5 × 18.0
107	牛痘法広告	1	絹本着色、額装、版本 60.0 × 71.0
108	好生館扁額	1	紙本墨書、額装 28.0 × 68.0

・工芸

肥前の陶磁器

番号	品名	時代	規格
古唐津系			
1	帆柱碗(斑唐津)	桃山時代	12.5(径)×6.9(高)
2	アメ釉叩壺	桃山時代	30.0(高)
3	絵唐津鳥文碗(奥高麗)	桃山時代	15.8(径)×9.6(高)
4	絵唐津草文水指	江戸前期	10.5(径)×12.4(高)
5	象嵌文平鉢	江戸前期	38.3(径)
初期伊万里系			
6	染付松梅文瓶	江戸初期	21.5(高)
7	青磁菊花陽刻文瓶	江戸初期	20.2(高)
8	染付日輪山水図平皿	江戸初期	20.8(径)
古伊万里系			
9	染錦五艘船大鉢	江戸中期	36.8(径)
10	色絵風俗図瓶	江戸中期	28.0(高)
11	色絵風俗図瓶	江戸中期	36.0(高)
12	古伊万里人形(男)	江戸中期	43.0(高)
13	"(女)	江戸中期	46.3(高)
14	染錦桜散透彫水注	江戸中期	34.3(高)
15	染錦彫皿	江戸中期	28.0(径)
16	染錦美人櫻閣烏竈図沈香壺	江戸中期	89.5(高)
17	染錦花蝶文大皿	江戸中期	54.0(径)
18	染付芙蓉手花籠図大皿	江戸中期	55.0(径)
柿右衛門系			
19	色絵岩牡丹小壺	江戸前期	14.7(高)
20	色絵耳付香炉	江戸前期	19.5(横) 17.3(高)
21	色絵寿老図皿	江戸前期	35.0(径)
22	色絵花鳥図角壺	江戸中期	27.5(高)
23	色絵花鳥唐人図壺	江戸中期	30.8(高)
鍋島藩窯系			

24	色鍋島更紗文高台皿	江戸中期	15.3 (径)
25	色鍋島芥子文皿	江戸中期	2.0 (径)
26	色鍋島猪口群 (5客)	江戸中期	8.6 (高) 2コ 6.43コ
27	染付橋図大皿	江戸中期	32.5 (径)
28	色鍋島桜柴垣図大皿	江戸中期	36.0 (径)
29	染付藩窯絵図大皿	江戸末期	53.0 (径)

佐賀錦 (鹿島錦)

番号	品名	時代	規格
1	財布	江戸時代	8.0×12.0
2	財布	明治時代	6.2×11.2
3	懷紙入れ		9.5×19.0
4	バック	大正時代	15.0×20.0
5	衝立	大正時代	58.5×57.5
6	錦習作		14.0×19.0
7	草履		22.7
8	眼鏡入れ		7.5×16.5
9	名刺入れ		12.7×8.7
10	バッグ		22.7×9.4

鍋島更紗

番号	品名	時代	規格
1	鍋島更紗秘伝書		34.0×227.0
2	鍋島更紗見本帖		34.0×471.0
3	鍋島更紗幔幕		115.0×948.0
4	鍋島更紗帯		28.5×243.0
5	鍋島更紗敷物		157.0×217.0
6	鍋島更紗羽織		65.0 (丈) 62.5 (ゆき)
7	家紋入りふくさ		43.0×43.0
8	ふくさ		43.0×43.0
9	更紗日記 (文献資料)		33.0×14.0
10	インド、ペルシヤ更紗見本帖 (参考資料)		26.5×20.0
11	インド更紗 (参考資料)		122.0×220.0

鍋島段通

番号	品 名	時 代	規 格
1	牡丹雷文		1帖 90.0×186.0
2	唐草芍薬文		2帖 90.0×372.0
3	唐草菱雷文	明治初期	1帖 90.0×186.0
4	唐草花文	江戸後期	1帖 90.0×186.0
5	唐草牡丹文		1帖 90.0×186.0
6	牡丹唐草文		1帖 90.0×186.0

佐賀ガラス

番号	品 名	規 格
1	フタ付水注ぎ	30.8 (高)
2	大 瓶	59.2 (高)
3	花 瓶	36.0 (高)
4	蓋付菓子器	15.0 (高)
5	金魚鉢	15.0 (口径) 24.0 (高)
6	金魚鉢	31.0 (高)
7	コップ	9.2 (高)
8	脚付皿	6.2 (高)

肥前刀

番号	品 名	銘	長 さ	備 考
1	2代末貞長巻	正平+○肥州末貞	62.6	◎
2	初代忠吉刀	肥前国忠吉 慶長五年八月吉日	68.7	のたれ
3	"	肥前国忠吉	70.8	◎
4	"	肥前国住人 源忠吉	72.1	◎
5	"	肥前国住 藤原忠廣 寛永七年八月吉日	75.6	◎
6	"	肥前国住武藏大掾藤原忠広 寛永八年八月吉日 (金象嵌)此刃露寛文五年十一月廿八日 三ツ胴截断山野加右衛門六十八才永久	72.3	◎
7	2代 "	肥前国住近江大掾藤原忠広	74.3	◎
8	3代 "	肥前國住陸奥守忠吉	73.2	◎
9	4代 "	肥前国住近江大掾藤原忠吉	71.6	◎

10	5代忠吉脇差	近江守忠吉 宝曆戊寅九月吉日泰納 鍋島阿波藤原茂訓	46.8	㊀
11	6・7代忠吉合作刀	肥前国近江守忠吉 同息橋本忠左衛門尉忠広 文化十一年申戌八月吉日	70.9	㊀
12	8代 "	肥前国忠吉 天保十四年卯八月吉日 應成松氏之需	70.8	㊀
13	9代 "	肥前国忠吉	75.1	㊀

・近代絵画

番号	品 名	規 格	制作年代
1	百武兼行作 「風 景」	油彩画布 61.0×91.4	
2	" 「マンドリンを持つ少女」	" 114.0×82.0	1879年
3	" 「鍋島直大肖像」	" 132.5×84.3	1882年
4	久米桂一郎作 「林檎拾い」	" 115.0×88.0	1891年
5	" 「清水寺」	" 60.0×75.0	1893年
6	岡田三郎助作 「花 野」	" 65.0×91.0	1917年
7	" 「丹霞郷」	" 52.0×63.0	1933年
8	高取稚成作 「義家出陣の図」	絹本着彩 142.0×56.5	1890年
9	" 「鷹 之 図」	" 118.0×41.5	
10	" 「鶏合せの図」	紙本着彩 119.0×42.0	
11	" 「藤房卿の草子」	" 41.5×64.0	1912年
12	" 「虫 摂」	" 124.0×31.0	

・郷土史の人々

番号	品 名	数量	規 格	備 考
1	鍋島直正筆「先優後楽」二行書	1	紙本墨書 171.0×99.0	生没年(1814-1871)
2	島義勇筆「萬代乎云々」和歌二行書	1	絹本墨書 119.0×29.8	(1822-1874)
3	小笠原長行筆「誰家思婦云々」古詩五行書	1	紙本墨書 180.5×95.4	(1822-1891)
4	佐野常民筆「石垣山」詩七言絶句二行書	1	絹本墨書 135.0×34.8	(1822-1902)
5	中林梧竹筆「二頃有云々」五言絶句四行書	1	紙本墨書 170.0×92.0	(1827-1913)
6	副島種臣筆「必得必位」三行書	1	紙本墨書 150.5×78.1	(1828-1905)
7	大木喬任筆「楠公昔忠云々」三行書	1	絹本墨書 147.0×40.0	(1832-1899)
8	江藤新平筆「欲報邦家」七言絶句三行書	1	紙本墨書 134.0×54.5	(1834-1874)

9	大隈重信頌徳碑文拓本	1		(1838-1922)
10	奥村五百子筆「世のちりを…」句幅	1	紙本墨書 107.7×38.6	(1839-1925)
11	久米邦武筆「久能山」詩七言絶句二行書	1	紙本墨書 128.4×31.0	(1839-1931)
12	西川春洞筆寿詞屏風	2曲 1隻	紙本墨書 137.5×67.0	(1847-1915)
13	天野為之筆「人生如一夢云々」四行書	1	紙本墨書 132.7×33.6	(1860-1938)
14	中島哀浪筆「かきもくと…」句額	1	紙本墨書 67.5×68.6	(1883-1966)
15	下村湖人筆「佐賀県立唐津中学校校歌」	1	紙本墨書 131.0×67.0	(1884-1955)
16	吉田絃二郎筆「故郷の山草青く…」句幅	1	紙本墨書 38.0×47.8	(1886-1956)

第2部 出品目録

	作品名	出品展覧会名 入賞名	氏名	住所
日本画	晨	日展	小栗 潮	東京都東大和市狹山1284-4
	華の幻想	日展	立石 春美	千葉県市川市東菅野4-8-6
	出漁	第6回日展	岩永京吉	鹿島市大手町
	晚秋	日本美術院展	溝口京子	佐賀市中央本町1-21
洋画	ラフ	日展	村岡 平藏	東京都新宿区西落合4丁目22-3
	古園の仏	第6回日展	田原輝	練馬区羽沢2-16
	オスランド海岸	十柯会展	内山 孝	国立市谷保7151
	林檎畑	光風会展	山口猛彦	世田谷区松原4丁目16-5
	新緑オランダ坂の家	第42回東光会展	石本秀雄	佐賀市中ノ小路9-29
	モロッコ	独立展	井手誠一	東佐賀町8-8
	早秋の窓辺	新作	江口明	本庄町西寺小路

	作品名	出品展覧会名 入賞名	氏名	住所
洋	水田	一水会展(佳作賞)	菊池義泰	鹿島市北鹿島
	愛子の裏家	東光会展(会員賞)	大久保孝夫	杵島郡福富町上区
	少女女	第41回東光会展	杉本好守	佐賀市本庄町袋363-13
	穂芒のある部屋	東光会展	筒井茂雄	杵島郡北方町焼米
	水門のみえる風景	第35回一水会展	久富邦夫	佐賀市本庄町鹿子245
	水田	新作	兵動健吾	小城郡小城町三里西川
	無津呂の農家	第29回示現会展	深川善次	佐賀市本庄町袋207
	休耕田	二科会展(特選)	松林清次	"朝日町6-9
	鳩と仙人掌	第35回創元会展 (第35回記念会員賞・鈴木賞・船岡賞)	宮地亨	"嘉瀬町中原1947-1
	作品品	新作	吉田西縕	"神野西2丁目5-5
	歳の中	東光会展	吉田進一	佐賀郡犬井道平田分東
	玄界	第2回個展 (大阪ホルム画廊)	小川末吉	伊万里市大川町大川野
	とおちゃんのでばん	佐賀ユース美術展 (特選)	広島巖	武雄市武雄町小楠
	机における ランドスケープ	新作	服部大次郎	佐賀市材木1丁目2-17
画	海からの風(転生)	県展 (県議会議長賞)	山田直行	神埼郡千代田町黒津2058
	方 向 I	第25回県展 (佐賀県教育委員会賞)	久保博邦	佐賀市天祐1丁目8-50
	東洋の壁「塔」	行動美術協会展	水落光博	"八戸2丁目2-12
	牛に乗る	個展	古賀忠雄	東京都練馬区桜台1-37
彫塑	バレ-	行動美術協会展	中島快彦	"豊島区巣鴨3-15-6

	作品名	出品展覧会名 入賞名	氏名	住所
彫 塑	影	第7回日展	成富宏	佐賀市水ヶ江5丁目6-10
	夏の日	第6回日展	山本民二	〃 中の館町4-3佐大官舍
	青樹	日展	武藤三男	〃 北川副町枝吉
工 芸	りょう 領	日本現代工芸美術展 (記念賞)	田中一	藤津郡嬉野町一位原
	盛流	日展	松尾重利	武雄市武雄町新町
	豊延	日本現代工芸美術展 (会員賞・文部大臣賞)	青木龍山	西松浦郡有田町外尾山
	叩き壺	日本現代工芸美術展	中里重利	唐津市東十人町
	あした 晨	第4回日展	中里太郎右衛門	〃 町田町
	焼鉢(唐津南蛮)	新作	中里隆	〃 見借、隆太窯
	青白磁花瓶	日本伝統工芸展 (NHK日本放送協会会長賞)	樋渡陶六	杵島郡山内町立ノ川内
	和紙染花文蓋物	第23回日本伝統工芸展 (姉妹作)	江口勝美	武雄市東川登町内田
	色鍋島うするり羊齒文鉢	日本伝統工芸展	今泉今右衛門	西松浦郡有田町赤絵町
	獨手草花文鉢	日本伝統工芸展	酒井田柿右衛門	西松浦郡有田町下南川原
	叩青唐津壺	日本伝統工芸展	中里無庵	唐津市町田町
	釉裏金彩花壺	日本伝統工芸展	小野珀子	藤津郡嬉野町下宿
	蜃氣樓	日本現代工芸美術展	県有	西松浦郡有田町中樽
	紺流	新作	草場正人	〃 有田町195-4
	円想	日本現代工芸美術展	辻貞男	〃 有田町229
	青白磁壺	日本伝統工芸展	井上萬二	〃 有田町西部南川原山

	作品名	出品展览会名 入賞名	氏名	住所
工芸	木版摺更紗着物 ほととぎす花文	日本伝統工芸展	鈴田照次	鹿島市能古見辻
	シマの構成	光風会展	城秀男	佐賀市西与賀町厘外四本松 845
	有明の詩	日本現代工芸美術展	小川泰彦	〃 本庄町東寺小路 836
書	曲線のコンポジション(九州)による	新作	平川朴山	鳥栖市藤の木
	梅光臣詩	新作	土肥春巖	佐賀市本庄町中島
	惠風和暢	九州20人展	山口流水	武雄市中町
	獣	新作	野田紫城	唐津市富士見町
写真	はねるムツゴロー	県展	音成三男	佐賀市八幡小路4-30
	創生	二科会展 (会員努力賞)	窪田功男	〃 神野町 825-1
	國宝富貴寺	九州写真師大会 (特選)	最所巖	神埼郡神埼町1丁目
	白い使徒	二科会展 (フジフィルム賞)	藤田正次	佐賀市高木瀬町高木1380-19
	務の放牧場	二科会展	宮崎宏	唐津市二夕子1丁目1-11
	休日の午後	日本写真家協会展	横尾尚	佐賀市巨勢町修理田396
	夜の目標	国際写真サロン展 (入賞)	真崎幸夫	〃 唐人1丁目
	波一皮膚	波一海 (個展・ニコンサロン)	森永純	東京都渋谷区千駄谷5-16-26 千駄谷フラワーマンション
宣伝美術	静止した空間	二科会展 (マミヤ賞)	古川公夫	佐賀市鬼丸4-10
	子々孫々へ	九州沖縄グラフィックデザイン展(招待作家賞)	池田勝利	佐賀市多布施4-18-9
	佐賀の民謡	新作	江口彰	〃 多布施4-18-18
	観光ポスター 「肥前鹿島」	新作	勝田宏	〃 天神1丁目1-21

	作品名	出品展覧会名 入賞名	氏名	住所
宣傳美術	ヨルゲンセン詩集	新作	小杉道久	佐賀市城内1丁目県立博物館内
	増大する核への不安	県展	中村公久	杵島郡山内町大野
	DESIGN FROM JAPAN	英国デザインセンター日本展用ポスター	宮木英幸	佐賀市本庄町本庄1034 佐賀大学一本杉宿舎
	不燃物の再利用は不可能だろうか	県展	宮原栄作	杵島郡山内町宮野1034-2
	観光佐賀	新作	宗俊朗	佐賀市多布施1丁目6-30

(7) 第26回佐賀県美術展

主催 佐賀県

佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

会期 昭和51年11月20日～11月28日

会場 1・2・3号、大展示室

観覧料 大人 大・高生 中・小生

個人 150 100 50

団体 100 50 30

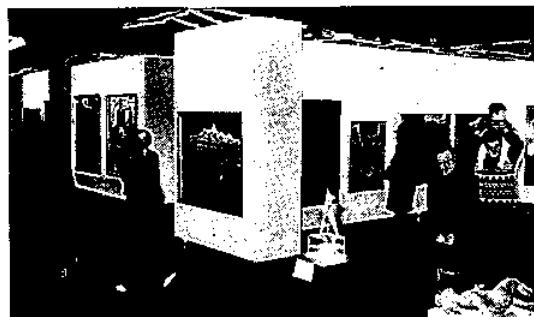
展示概要

県内在住者を対象に、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・宣伝・美術の七部門にわたって一般公募を行い、入選作に委嘱作品、審査員の作品を加えて361点を展覧した。

出品目録 (受賞作、招待、審査員出品のみ)

第1部 日本画

(無鑑査)	浅春	吉岡 香雲	佐賀県教育委員会賞	留守姉妹	山崎 正也
県展奨励賞	福小穂	西岡 一義	招待	庭	下川 千秋
佐賀新聞社賞	三月の頃	荒木 孝典			



第2部 洋画

佐賀県造形教育研究会賞	曲芸A	真島健児郎	NHK賞	木もれ陽(里)	北島 治樹
佐賀新聞社賞	楠と子ども	深草 広平	佐賀県知事賞 (副賞山口亮一賞)	室内にて	内田 義男
読売新聞社賞	菊	篠崎 忠	(無鑑査)	方向II	久保 博邦

県展奨励賞	母と子	富崎 秀明	招待	田園夕日	吉田 進一
サガテレビ賞	背振路連	吉田 肇	招待	夕焼をまぶたにため逢いに行くゆうやけてきみのまちいる野辺に	井手 誠一
県展奨励賞	少年	塚本猪一郎			
N B C 賞	白石平野	下平 武敏	招待	天山と六角川	菊池 義泰
佐賀県議会議長賞	晩夏の山あい	古賀五十男	招待	窓辺の静物	江口 明
県商工会議所連合会賞	室内	佐伯 勝己	招待	多聞天	田原 雄輝
鳥栖市長賞	母と子	金子 剛	招待	ガンジス川の人	大隈 武夫
招待	いろは島	筒井 茂雄	招待	漁港	山口 猛彦
招待	農家	大久保孝夫	招待	卵宇宙もしくは宇宙卵	池田 龍雄
招待	赤い船形	吉田 西縕	招待	ラフ	村岡 平蔵
招待	北山の農家	深川 善次	招待	出を待つ	三塙 清巳
招待	静かな会話	杉本 好守	招待	帽子の老人	大久保実雄
招待	二人	久富 邦夫	招待	城のある港	内山 孝
招待	婦人像	山口 勝	招待	少女と犬	橋崎 重視
招待	村落	松林 清次	招待（遺作）	伊豆（安良里港）	納富 進

第3部 彫 塑

佐賀新聞社賞	横たわるおんな	古賀 義治	招待	夏の女	武藤 三男
佐賀県知事賞（無鑑査）	若い女	松本 孝治	招待	スタジオ	成富 宏
佳作賞	エミコ	中原 玲子	招待	午後	緒方 敏雄
佳作賞	おさげ髪	藤本 恵三	招待	バレー	中島 快彦
招待	ひとり	山本 民二	審査員	巴里の女	中村 晋也

第4部 工 芸

佳作賞	秋	寺田ミツエ	N H K 賞	北極の光	嶋田 敏生
日本経済新聞社賞	晩秋	森 栄子	佐賀新聞社賞	秋想	前田 泰昭
佐賀県知事賞（副賞県陶芸協会賞）	青白磁花器	村島 昭文	県展奨励賞	青白磁六角花器	照井 刷敏
武雄市文化会議賞	白釉鉢	添田 和信	（無鑑査）	大空へ	溝上 秀次
朝日新聞社賞	灰釉壺	坂本 義弘	招待	包溶	田中 一
佐賀県議会議長賞	聖	辻 毅彦	招待	萌芽	松尾 重利
佐賀市長賞	白磁（夏の詩）	中島 均	招待	白磁花形花器	井上 萬二
佐賀美術協会賞	叩き紋鉄釉壺	金子 認	招待	青白磁五方割花瓶	樋渡 陶六
佳作賞	青磁彫刷毛目魚藻文鉢	佐藤 走波	招待	釉裏金彩紅釉花瓶	小野 琴子
唐津市長賞	華	外尾 熊太	招待	和紙染蝶文蓋物	江口 勝美

招待	叩き三島魚文壺	中里太郎右エ門	招待	海の幸	辻 貞男
招待	朝鮮唐津耳付水指	中里 無庵	招待	獨手衛葡萄	酒井田柿右エ門
招待	焼〆花入	中里 重利	招待	文蓋物	有
招待	流れ	草場 正人	招待	天文	小川 泰彦
招待	色鍋島しだ文鉢	今泉今右エ門	招待	汲と雲と	木版摺更沙着物竹林 鈴田 照次
招待	豊生	青木 龍山	招待	木版摺更沙着物竹林	大丸 辰男

第5部 書

毎日新聞社賞	かげりゆく展望	大串 涯山	佐賀県議会議長賞 (副賞大坪終 軒賞)	萬葉の歌	南里 石洲
佐賀新聞社賞	填溝塞壑	角田 隆宣	伊万里市長賞	崔塗詩	荒尾記史朗
武雄市長賞	良寛のうた	本村美恵子	招待	王安石の詩	山口 流水
日本経済新聞社賞	王漁洋の詩	山口 信行	招待	許渾句	土肥 稔利
サガテレビ賞 佐賀県教育委員会賞 (副賞 中 林橋竹賞)	和歌二首	平山 俊子	招待	「家」による	平川 朴山
県展奨励賞	秋来る	山口 流芳	招待	白雲還自散	野田 紫城
県展奨励賞	本阿弥切(臨)	豊村 一之	審査員	古為今用	今井 凌雪
県展奨励賞	唐詩	渡辺 晃			

第6部 写 真

県展奨励賞	早晩	石崎 政秋	招待	受難	藤田 正次
佳作賞	鴻の子	佐藤 孝幸	招待	飛驒の里	最所 巍
県展奨励賞	夜明け	岩尾久二郎	招待	孤馬	中島 実
佳作賞	男の墓標	坂口 正二	招待	Now it ...	副島 次郎
多久市長賞	Face it B-747	山口 一郎	招待	休日の午後	横尾 尚
佐賀新聞社賞	彦爺	末次 弘道	招待	花	宮崎 宏
N H K 賞	高原二題	久保 光男	招待	信仰	真崎 幸夫
佳作賞	風景	大坪 晃	招待	fo be	山本 和大
佐賀県教育委員会賞	樹	鷲崎 哲雄	招待	廢園の午後	古川 公夫
佐賀県文化団体協議会賞	森秋馬	井上 博之	招待	むつごろう	大塚 清吾
西日本新聞社賞	ふるさとへ	伊東 重悦	審査員	ちどり	音成 三男
読書新聞社賞	晩秋	福田 明	審査員	白い空間	窪田 功男

第7部 宣伝美術

県展奨励賞	レコードジャケット	浦郷 裕之	文部大臣奨励賞	ポスター 消えて ゆく百姓言葉	久保 博邦
県商工会議所連合会賞	書籍ポスター G A M E(2)	宮田 敦子	県展奨励賞 鹿島市長賞	1 豊作祈願 (B)	安田憲一郎

佳作賞	CAMPUS FESTIVAL MARCH No.1	松永さつき	招待	ポスター・デザイン三人展	江口 彰
佐賀新聞社賞	'77 カレンダー	蒲原 和子	招待	エディトリアルデザイン詩誌「はんぎい」	小杉 道久
佳作賞	イラストレーション'77	桟 寿博	招待	ポスター 明るみに姿を現わすのはいつの日のことか	中村 公久
西日本新聞社賞	書籍表紙デザイン	添島 君子	招待	ポスター「老後」	宮原 栄作
N B C 賞	発芽不安	大宝タクオ	招待		宮木 英幸
県展奨励賞	出版社用カレンダースタッフ試作	長谷川誠次	審査員	構成	宮木 勝田 宏
佐賀県貯蓄推進委員会賞	セッセ、セッセ	中村 順子	審査員	ポスター「他人の顔」	安部公房

(8) 佐賀県高等学校美術展

主 催 佐賀県高等学校美術連盟
 県造形教育研究会高等学校部会
 佐賀県立博物館
 後 援 佐賀県教育委員会
 会 期 昭和51年12月1日～12月5日
 会 場 大展示室
 観 覧 料 無料

展 示 概 況

本県高等学校美術教育の振興と美術の発展のため、企画されたもので、内容も、絵画・デザイン・工芸など150点が展示され、水準の高さがうかがえた。

出品点数 参加校 24校
 特 選 10点
 奨励賞 36点
 入 選 104点



(9) 第17回佐賀県学童美術展

主 催 佐賀県造形教育研究会
 佐賀県立博物館
 後 援 佐賀県教育委員会
 会 期 昭和51年12月9日～12月14日
 会 場 大展示室
 観 覧 料 無料
 展 示 概 況

県下の小・中学校の美術振興を目的とするもので、絵画・デザイン約300点を展覧した。

(10) 第4回教職員美術展

主 催 (財)佐賀県教育職員互助会

佐賀県立博物館

後 援 佐賀県教育委員会

会 期 昭和51年12月18日～12月23日

会 場 大展示室

観覧料 無料

展示概況

県下の教職員による絵画、書、写真、工芸、彫塑、宣伝美術の6部門にわたる作品を展覧した。

出品点数

絵画85点 書18点 写真19点

工芸29点 彫塑5点

宣伝美術4点 計160点

(11) 九州グラフィックデザイン展

主 催 九州各県、福岡市、北九州市、同教育委員会

佐賀県立博物館

後 援 文化庁、文化団体、各報道機関

会 場 大展示室

会 期 昭和52年1月5日～9日

観覧料 無料

図録 1,000円

展示概況

九州各県広域文化の向上発展と相互交流のための一環である。現在第一線で活躍するグラフィックデザイナーによる作品と、一般公募入選作品を展示し、グラフィックデザイン界の発展に寄与するものでデザイナーの登龍門となっており、回を重ねるごとに内容も充実してきた。

出品点数

招待出品48点 一般公募112点

(12) 九州の原始文様展

会 期 昭和52年1月15日～2月24日

会 場 3号、大展示室

主 催 佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館

援 助 文化庁・九州各県教育委員会

九州博物館協議会

佐賀県各市町村教育委員会

観覧料	大人	大・高生	中・小生
個人	200円	150円	100円
団体 〔20名以上〕	150円	100円	50円

講演会 日時 1月30日

会場 大展示室

演題 縄文時代における西北九州と大陸との交流について

講師 慶應義塾大学教授江坂輝弥氏

図録 九州の原始文様—縄文土器にその原点を探る

完形品写真120点 破片写真約500点 約270頁 1,500円

とくに西北九州は、大陸に近接するという地理的条件から、弥生時代はもとより縄文時代における大陸との交流や、近年国見山系の洞穴遺跡の発掘調査による、土器文化の発生に関する多くの成果から、学会の注目するところである。

当館では、九州における過去の調査による資料と、近年の新しい未発表資料とを一同に集成し展覧することにより、九州の縄文土器文化を再確認し、土器面に描かれている各種文様から、縄文人の美意識の表現を知るとともに、焼物の原点を探ることを目的として九州・沖縄全域を対象とし、関東・東北の縄文土器や韓国出土のクシ目土器、南米エクアドルのバルディビア遺跡出土の土器等をも関連資料として完形品約120点、土器片約500点を展示した。

なお、1月30日講演会終了後講師の江坂教授と別府大学文学部賀川光夫教授を囲んで、「九州縄文土器論」について座談会を開き、又2月6日には、文化庁坪井清足鑑査官と国学院大学文学部麻生優講師を迎えて、「縄文土器始源論と九州の縄文土器編年の諸問題」について活発な意見交換がなされるなど、今後の九州縄文土器研究に多くの問題提起がなされた。

(13) 肥前の近世絵画展

主催 佐賀県立博物館

会期 昭和52年3月5日～3月30日（会期中無休）

会場 2・3号展示室

観覧料	大人	大・高生	中・小生
個人	250	150	100
団体	200	80	40

講演会 1日時 3月5日

会場 中展示室

演題 九州の文人画と洋風画について

講師 九州芸術工科大学教授 岸田 勉

2 日時 3月12日

会場 中展示室

演題 雲谷等顔とその時代

講師 大阪大学教授 武田恒夫

図録 肥前の近世絵画

カラー写真 4枚 モノクロ写真135枚 約110頁 1,000円

展示概況

桃山から江戸末期に至る近世期の肥前出身画家の作品を中心に、あわせて肥前に伝承されてきた優品類をも加え、漢画系、南画・写生画系、洋風画系、浮世絵その他の4つの系統に分けて約120点展観した。

出品目録

漢画系							
1	蓮池水禽図	松浦 等婵	掛 副 双 幅	紙 本 墨 画	各105.5×43.0cm		
2	肥前名護屋城図	狩野 光信	屏風六曲一隻	紙 本 淡 彩	162.0×270.0	佐賀県立博物館	
3	野馬図屏風	雲谷 等顔	屏風六曲一双	紙 本 淡 彩	各146.7×345.5	京都国立博物館	
4	楼閣山水図屏風	筆者 不詳	屏風六曲一隻 (押絵貼)	紙 本 墨 画	139.4×49.8		
5	賀茂競馬図屏風	"	"	紙本金地着彩	108.3×266.0	鍋島報效会	
6	觀桜図屏風	"	屏風六曲一双	"	各108.0×265.0		
7	山桜図屏風	"	"	紙本銀地着彩	各161.5×356.0		
8	洛中洛外図屏風	"	屏風六曲一双	紙本金地着彩	各154.3×358.4		
9	洛中洛外図屏風	"	屏風六曲一隻	"	154.9×360.2		
10	藤棚図屏風	"	屏風二曲一隻	紙 本 着 彩	152.3×84.8		
11	勿来閔図	狩野 文周	掛 幅 一 幅	絹 本 着 彩	67.5×35.5		
12	入物図画譜	葉山 朝湖	"	紙 本 墨 画	116.0×49.3		
13	河上図	小原有閎斎	"	絹 本 着 彩	41.6×65.5	鍋島報效会	
14	竜天善神・白山觀權図	大木 英鉄	掛 幅 双 幅	紙 本 着 彩	100.0×46.5		
15	騎馬人図	"	掛 幅 一 幅	絹 本 淡 彩	65.4×30.3	佐賀県立博物館	
16	鍋島勝茂肖像	"	"	紙 本 墨 画	46.8×18.7		
17	夏景山水図	広渡 雪山	"	"	97.5×46.0		
18	楊柳觀音図	"	"	"	82.1×30.2		

19	山 水 図	広渡 雪山	掛 幅 一 幅	絹 本 淡 彩	34.2 × 54.8cm	
20	山 水 図	"	"	紙 本 墨 画	36.7 × 56.0	
21	与賀神社縁起図	永松 玄徳	"	絹 本 着 彩	197.0 × 160.7	
22	麒麟鳳凰・竜龜図	鍋島 綱茂	掛 幅 双 幅	"	各 128.0 × 52.0	
23	神 農 図	"	掛 幅 一 幅	"	54.3 × 37.0	
24	諸 葛 孔 明 図	"	"	"	91.8 × 33.7	
25	豊 干 之 図	河村 若芝	"	"	37.5 × 64.3	長崎県立美術博物館
26	梅竹梅双鶴図	河村 若元	"	紙 本 着 彩	113.0 × 44.7	"
27	摩 利 支 天 国	三浦 子璨	"		114.5 × 38.2	
28	騎 馬 人 図	"	額 一 面	絹 本 着 彩	42.0 × 87.8	
29	虎図(裏面人物図)	筆者 不詳	衝 立 着 彩		148.3 × 145.7	
30	人 物 図	"	杉 戸 絵 二 面	"	各 177.3 × 129.0	
31	松 鶴 ・ 竹 龜 図	狩野 典信	掛 幅 双 幅	絹 本 着 彩	144.1 × 67.8	
32	四季孔雀図屏風	狩野 高信	屏 風 六 曲 一 双	紙 本 金 地 着 彩	各 151.5 × 345.6	
33	祇 園 祭 礼 図	筆者 不詳	屏 風 六 曲 一 隻	"	123.8 × 246.4	鍋島報效会
34	鷹 図 屏 風	"	屏 風 八 曲 一 隻	"	164.0 × 279.0	
35	富 士 山 図	山本 若麟	額 一 面	絹 本 淡 彩	46.0 × 60.5	
36	竹 虎 図	筆者 不詳	杉 戸 絵 二 面	着 彩	各 158.5 × 84.5	武雄市
37	松 鷹 図	"	"	"	"	"
38	富 獄 図	長谷川雪旦	掛 幅 一 幅	絹 本 着 彩	53.5 × 86.2	
39	山 水 図	"	掛 幅 双 幅	絹 本 墨 画	各 94.4 × 32.3	
40	山 水 図	"	"	"	各 105.2 × 43.7	
41	秋 景 山 水 図	"	掛 幅 一 幅	紙 本 淡 彩	134.0 × 43.5	
42	鶴 に 寿 老 人 図	"	掛 幅 三 幅 対	絹 本 着 彩	各 96.4 × 35.8	
43	孔 子 図	"	掛 幅 一 幅	"	89.8 × 36.5	
44	牛 図	"	"	"	103.8 × 40.2	
45	寒 山 拾 得 図	"	"	紙 本 墨 画	90.7 × 167.3	
46	寒 山 拾 得 図	長谷川雪糖	"	紙 本 墨 画 淡 彩	92.2 × 175.8	
47	侍 女 図	"	額 一 面	紙 本 着 彩	58.4 × 119.7	
48	能 舞 図	"	屏 風 二 曲 一 双	"	各 157.5 × 136	
49	花 鳥 図	"	掛 幅 一 幅	絹 本 着 彩	117.5 × 41.0	
50	恵比寿図(草場船山譜)	"	"	"	162.6 × 47.9	
51	山 水 楼 閣 図	広渡 心海	"	紙 本 淡 彩	125.7 × 56.7	武雄市

52	牧牛図	広渡心海	掛幅一幅	紙本着彩	104.5 × 38.5cm	
53	山水図屏風	"	屏風六曲一双	紙本淡彩	各161.7 × 365.0	
54	芦雁図屏風	"	屏風六曲一隻	"	163.5 × 376.0	
55	山水図	白如斎成真	掛幅一幅	"	116.5 × 37.5	武雄市
56	琴棋書画図	"	"	"	"	"
57	桐二鳳凰図	温古斎柏山	杉戸絵二面	着彩	158.7 × 48.3	
58	牧牛図	"	"	"	164.0 × 87.0	
59	牡丹山猫図	"	"	"	159.0 × 84.7	
60	牡丹稚子図	"	"	"	161.7 × 81.8	
61	富士図	温故斎	掛幅一幅	紙本淡彩	43.0 × 60.5	

南画・写生画系

1	鶴図	伊藤若冲	掛幅双幅	紙本墨画	各129.0 × 51.0cm	
2	唐獅子図屏風	長沢芦雪	屏風六曲一隻	"	160.2 × 354.2	
3	藻鯉図	天竜道人	掛幅一幅	絹本着彩	107.5 × 35.2	
4	葡萄図	"	"	絹本墨画	102.5 × 43.0	
5	松鶴図屏風	岸良	屏風六曲一双	紙本金地着彩	各154.5 × 357.2	
6	虎図	岸天岳	掛幅一幅	絹本墨画	129.0 × 41.8	
7	鶴図	"	"	紙本墨画	127.5 × 52.2	
8	月瀬春暉図	"	屏風六曲一隻	紙本淡彩	156.2 × 354.0	
9	秋景山水図	日高鉄翁	掛幅一幅	絹本着彩	126.0 × 42.5	長崎県立美術博物館
10	雪中山水図	"	"	絹本墨画	106.8 × 36.1	
11	梅溪煎茶図	三浦梧門	"	絹本着彩	109.0 × 34.5	
12	秋景山水図	木下逸雲	"	"	124.6 × 40.2	
13	花蝶図(牡丹に猫図)	"	"	"	151.0 × 56.3	長崎県立美術博物館
14	竹図屏風	草場佩川	屏風六曲一双	紙本墨画	各154.0 × 362.0	
15	西王母図	"	額一面	"	35.0 × 53.2	
16	若鷺初獲・鳥群図	"	掛幅双幅	絹本着彩	各124.0 × 48.2	
17	花鳥芦雁図屏風	古川松根	屏風二曲一隻 (押絵貼)	紙本着彩	各128.0 × 64.2	
18	婦人肖像図	"	掛幅一幅	絹本着彩	99.2 × 40.0	
19	宮廷人物図画譜	"	"	"	116.2 × 48.3	
20	花鳥図	成富椿屋	"	"	141.0 × 83.0	
21	松鶴図	"	"	絹本淡彩	136.5 × 48.8	
22	海辺群鶴図	筆者不詳	襖十面	紙本着彩	各171.3 × 87.0	

23	海辺群鶴図屏風	高柳 快堂	屏風六曲一隻	紙本着彩	132.5×312.6cm	
洋風画系						
1	南蛮人来朝図	筆者 不詳	屏風六曲一双	紙本金地着彩	各155.0×351.0cm	長崎県立美術博物館
2	樹下双猿之図	沈 南蘋	掛幅一幅	絹本着彩	87.9×105.8	"
3	麒麟之図	"	"	"	138.7×161.6	
4	梅竹に鳥図	"	"	"	113.0×44.4	
5	喜報三元図	熊 斐	"	"	62.5×93.7	
6	雪中鷹ノ図	"	"	紙本着彩	124.8×42.3	長崎県立美術博物館
7	竹 図	"	"	紙本墨画	121.0×30.8	
8	柳に鶴図	宋 紫石	"	絹本着彩	67.0×137.0	長崎県立美術博物館
9	花鳥図	"	"	"	105.0×36.8	
10	寿老人図	筆者 不詳	"	"	117.5×80.2	
11	デ・フィレネー フェ夫妻図	石崎 融思	"	"	50.0×33.3	長崎県立美術博物館
12	駿河湾より見た 富士之景	司馬 江漢	額一面	紙本淡彩	52.4×94.7	"
13	錦帶橋図	"	掛幅一幅	絹本着彩	64.2×86.9	"
14	鷲匠図	若杉五十八	額一面	油彩画布	61.7×42.0	
15	洋人行染図	伝若杉 五十八	"	"	54.0×153.0	長崎県立美術博物館
16	万国人物図	伝荒木如元	卷子一巻	紙本着彩	34.0×1225.0	"
17	平安福寿図	"	掛幅一幅	絹本着彩	191.1×53.6	"
18	三番叟	原 南嶺済	掛幅三幅対	絹本着形	各 99.7×27.0	長崎市立博物館
19	泻血手術図	川原 霆賀	額一面	紙本着彩	87.0×50.0	長崎県立美術博物館
20	プロンホフ夫人図	"	"	"	94.3×49.3	"
浮世絵、その他						
1	二美人図	勝川 春章	掛幅一幅	絹本着彩	33.5×42.2cm	
2	浅草年之市正月図	歌川 豊国	掛幅双幅	" "	各115.5×66.5	
3	美人図(ヘンミ譜)	"	掛幅一幅	"	97.5×36.2	
4	雛図(久世通理譜)	酒井 抱一	"	"	84.5×32.0	
5	竹図(千種有功譜)	"	"	絹本墨画	122.0×42.5	
6	秋草図	"	掛幅双幅	絹本着彩	各106.3×41.8	
7	東海道名所風景 絵貼交屏風		屏風六曲一双		各 35.7×24.8	

(14) 佐賀大学教授 城秀男退官記念展

主 催 佐賀県造形教育研究会

佐賀大学美術科同窓生

佐賀大学教育学部

佐賀県立博物館

後 援 佐賀県教育委員会

九州現代工芸美術家協会

佐賀美術協会

会 期 昭和52年3月6日～3月10日

会 場 大展示室

観覧料 無料

展示概況

佐賀大学教授、城秀男氏が昭和52年3月をもって退官されるのを記念して、これまでの研究の成果を展覧するものである。出品内容は、日展、日本現代工芸美術展出品作を中心に展示した。

出品点数

染色パネル、屏風作品42点

(15) 佐賀大学教授土肥春嶽退官記念展

主 催 佐賀大学教育学部

佐賀県立博物館

実行委員会

佐賀大学教育学部国語教室

佐賀県書道教育連盟

会 期 昭和52年3月12日～16日

会 場 大展示室

観覧料 無料

図録 1,000円

展示概況

昭和52年3月佐賀大学を退官された土肥教授は、第1回尾上柴舟賞をはじめ、度々日展の入選を果されたが、その後は専ら後進の育成に努力された。展示会には条幅41点、額24点、色紙8点、合計73点を展示した。

(16) 佐賀大学卒業制作展

主 催 佐賀大学教育学部

佐賀県立博物館

会期 昭和52年3月18日～3月21日

会場 大展示室

観覧料 無料

展示概況

佐賀大学美術科は、特設美術科教員養成課程、中学校美術教員養成課程、小学校教員養成課程図工選修の各コースから成りたち、特別教科は九州、山口一円に亘り、高校美術工芸の教員として、多くの人材を送り出している。毎年この期に在学中の研究の集約を卒業制作として発表している。

内容も、油絵・日本画・デザイン染織・金工などバラエティに富み4日間で986名の観覧者を得た。

出品点数

油絵44点 日本画5点 染織6点

金工2点 デザイン2点 計59点

(17) 勤労者美術展

主催 佐賀県

佐賀県立博物館

後援 佐賀県教育委員会

佐賀市

佐賀県労働者福祉協議会

会期 昭和52年3月25日～3月29日

会場 大展示室

観覧料 無料

展示概況

勤労生活の中から創作された作品を広く展示して、勤労者の芸術意欲を高揚し、文化的教養の向上と余暇利用の健全化を図ることを目的とした展覧会である。

出品点数

絵画62点

写真53点

書道24点

工芸20点 計159点

昭和51年度企画展ポスター





5. 昭和 41 年度観覧者概要

A. 常設展		個 人				團 体				観覧料免除				招待者				合 計				開館日数				一日平均期間				備 考			
		大人		大・高		中・小		大人		大・高		中・小		大人		大・高		中・小		招待者		優待者		合		計		開館日数		一日平均期間		備 考	
佐賀県の歴史と文化展	41~8/15	30,731	877	1,805	767	41	6	380	1,121	2,045	255	223	1,0593	113	94	4~8/16																	
佐賀県作展	12/5~2/24	10,956	199	5,148	76	94		97	54	273	65	41	2,543	62	41	12/5~2/24																	
計		41,649	1,076	2,353	843	135	6	477	1,175	2,318	320	264	13,136	175	75																		
B. 企画展		個 人				團 体				観覧料免除				招待者				合 計				開館日数				一日平均期間				備 考			
		大人		大・高		中・小		大人		大・高		中・小		大人		大・高		中・小		招待者		優待者		合		計		開館日数		一日平均期間		備 考	
三根霞郷展		334	88	82	21	33	12							327	22			919	6	153	4~4/1												
日本伝統工芸秀作展		3,492	1,801	732														60,25	15	401	5/23~6/6												
佐賀県美術作家会展																				常設展と併設	(5)												
佐賀県書作家協会展		867	466	112														1445	6	241	7/5~7/20												
佐賀県七夕普道感覚会		538	86	541														1,165	6	194	7/22~7/27												
柿右衛門名品展		7,364	486	881	2,058	1,959	323							2,924				15,995	28	571	8/29~9/26												
若楠国体芸術展		7,816	3,560	5,693														17,069	29	589	9/10~11/8												
佐賀県美術展		3,680	715	932	369	1,939	866							1436				9,937	9	1,104	1/20~11/28												
佐賀県高等学校美術展			(12/05)															1,205	5	241	1/2~1/5												
佐賀県高等学園美術展		3,80	6	984														1,370	5	274	1/2~1/14												
教職員美術展		3,333	77	141														551	6	92	1/18~2/23												
九州グラフィックデザイン展		4,63	190	122														775	5	155	1/5~1/9	32年											
九州の原始文様展		1,509	264	387	57	214	201	42						847	49			3,570	34	105	1/15~2/24												
肥前の近世絵画展		1,681	410	249	70	48	199							769	79			3,505	26	135	2/5~3/30												
城秀男退官記念展		964	261	391														1,616	5	339	3/6~3/10												
土肥春媛官記念展		1,528	246	286														2,060	5	412	3/12~3/16												
佐賀大学卒業制作展		3,86	209	86														681	4	170	3/18~3/21												
勤労者美術展		731	98	157														986	5	197	3/25~3/29												
計		32,066	(12/05) 8,963	11,776	2,575	4,193	1,601	42						6,303	1,50			68,674	(5) 199	346													
合 計 (A + B)		36,235	(12/05) 10,039	14,129	3418	4,328	1,607	519	1,175	2,318	6,623	414		82,010	(5) 374																		
東光会佐賀支部緑光会展																		395	4	99	4/1~4/5年												

4 普及活動

(1) 資料の刊行

・博物館報

館報は8頁、年6回発行した。内容は、館蔵資料の紹介、行事のお知らせ、企画展の紹介、研究講座の内容を主としている。配布先は県内教育機関、社会教育団体及び主な博物館等で、館の利用促進の資料に供している。

発行回数 6回

印刷部数 1回 1,200部

形態 B5版 アート紙8頁

・年報

今年度は第6号を発行し、昭和50年度の博物館の管理運営、事業、資料の概況、茶室の利用概況について報告した。

印刷部数 1,000部

形態 B5版 アート紙68頁

・「肥前歴史の旅」図録

「若楠国体芸術展」第1部の図録として刊行。カラー写真4枚、モノクロ写真約400枚を含め156頁。藩政成立の前後、藩政期の文教、幕末から明治にかけての科学技術、先哲者の書画、工芸等各出品物235点を紹介、解説を付している。

印刷部数 1,500部

形態 B5版 アート紙

内容 カラー 4頁

歴史 68頁

工芸 30頁

近代絵画 6頁

郷土の人々 16頁

佐賀400年の由来 10頁

肥前歴史の旅 略年表 4頁

出品目録一覧 8頁

付録 14頁

・「九州の原始文様」図録

この図録は昭和52年1月15日から2月24日まで開催した「九州の原始文様展」に伴なって刊行したもので、完形品写真120点、破片写真約500点を含め約270頁。泉福寺遺跡から出土した日本最古といわれる豆粒文土器（復元）をはじめ九州各县の縄文時代早期から晩期にいたる土器を、時代別、県

別、文様別に分類して掲載している。

印刷部数 1,500部
形 態 B5版 アート紙
内 容 九州の主要縄文土器 10頁
　　九州の縄文時代早期の土器 34頁
　　九州の縄文時代前期の土器 43頁
　　九州の縄文時代中期の土器 35頁
　　九州の縄文時代後期の土器 80頁
　　九州の縄文時代晚期の土器 11頁
　　東北・関東の縄文土器 6頁
　　韓国の土器 4頁
　　南米エクアドルの土器 1頁
各論・研究史 40頁

。「肥前の近世絵画」図録

この図録は昭和52年3月5日から3月30日まで開催した「肥前の近世絵画展」に伴なって刊行したもので、カラー写真4枚、モノクロ写真136枚を含め100頁。桃山から江戸末期に至る近世の肥前出身画家、雲谷等顔はじめ広渡雪山、広渡心海、長谷川雪旦等を、また肥前に伝承されてきた中央作家のすぐれた作品を加え、漢画系、南画・写生画系、洋風画系、浮世絵その他等の四つの系統に分けて掲載している。

印刷部数 1,000部
形 態 B5版 アート紙
内 容 カラー 4頁
　　漢画系 37頁
　　南画・写生画系 14頁
　　洋風画系 12頁
　　浮世絵、その他 6頁
　　諸家系譜 4頁
　　画家略伝 8頁
　　肥前の近世絵画展関係年表 10頁
　　出品目録 4頁

(2) 博物館研究講座

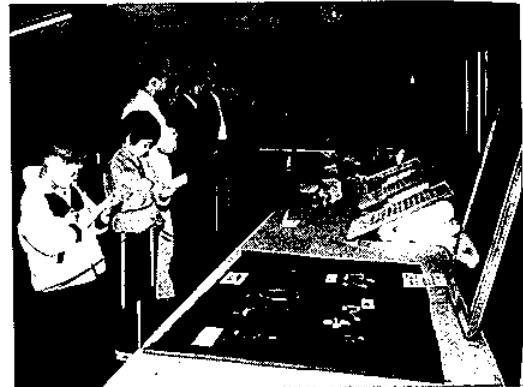
本年度は「日本伝統工芸秀作展」、「柿右衛門名品展」、「九州の原始文様展」、「肥前の近世絵画展」の開催中に記念講演会を実施した。

期日	演題	講師	参加者数
5月23日	手仕事と現代	武蔵野美術大学教授 水野比呂志	120人
9月5日	近世工芸の装飾性 =肥前磁器の意匠と 絵模様	佐賀県文化財保護審議会委員 永竹 威	163人
9月19日	肥前陶磁器研究の問題点 =古伊万里と 古九谷論争、藩窯のなぞ	同 上	186人
9月25日	東西窯芸交流 =肥前磁器の国際性	同 上	235人
1月30日	縄文時代における西北九州と大陸との 交流について	慶應義塾大学教授 江坂 輝弥	153人
3月5日	九州の文人画と洋風画について	九州芸術工科大学教授 岸田 勉	55人
3月12日	雲谷等顔とその時代	大阪大学教授 武田 恒夫	42人
計			954人

(3) 移動博物館

本年度は10月に東松浦郡北波多村で、11月に杵島郡北方町で実施した。

展示品は、2会場とも当館所蔵の考古、歴史資料を展示すると共に地元の考古資料や、郷土にある先覚者書画等を展示し一般は勿論学校教育にも利用し好評であった。



会期	会場名	期間	観覧者数
昭51・10・30～10・31	北波多村公民館	2日	493
昭51・11・23～11・25	北方町公民館	3日	854
計		5日	1,347

5. 発掘調査

東西松浦地方洞穴分布調査

東・西松浦地方は、玄界灘に面し朝鮮半島に近接するという地理的条件から、弥生時代における大陸文化移入の門戸として、研究の対象地域として注目されているところである。

戰後、弥生時代よりさかのぼって縄文時代における大陸との交渉が注目されるようになり、個々の資料の追加が試みられてきたが、まだ多くの資料の追加が必要であり、良好な層位を伴う遺跡の発掘調査を実施する必要性から、当館では今後の調査、研究の基礎資料を得るべく、その目標を洞穴遺跡に定め、昭和52年3月23日から26日まで分布調査を行なった。

今回は、分布調査対象地域を東松浦半島に限定し、相知町・呼子町・鎮西町・玄海町・肥前町を踏査した。

相知町では、地元教育委員会の協力を得松浦川の支流である佐里川と平山川にそって露頭する砂岩地帯を踏査し、平山川にそって2カ所の洞穴と佐里川にそって1カ所の洞穴を発見することができた。

これらの洞穴は東もしくは南に向って開口しており、近接して水源を有するところから生活条件を満たしており、うち1カ所からは過去において旧石器時代末期の細石器が発見されており、他からは貝殻も確認されている。この地域は佐里砂岩層の露頭がいたるところに存在し、精査することにより多くの洞穴群が発見されるものと推定される。

玄海町では過去石鍬等が採集された洞穴が海岸線にそって存在し、海浸によって形成された大洞穴群が点在していることも確認でき、肥前町においては標高10m～20mの地点に小洞穴が存在することが確認され、今後の精査が期待されるところである。

また玄海に浮かぶ馬渡島では以前の調査で3カ所の洞穴が発見されており、近接して旧石器時代末期のナイフ形石器、台形石器等を多量に出土した切立遺跡がある。

このように、東松浦半島にはまだまだ多くの洞穴遺跡等が点在するものと推定でき、今後の分布調査・発掘調査により、旧石器時代から縄文時代における東松浦半島の史的解明と大陸との交渉史の実体が把握できるものと思われる。

資料の概況

1. 昭和50年度末資料の概況

資料は大別して自然史資料、考古資料、歴史資料、美術工芸資料および民俗資料に分類しているが、その概況はつきのとおりである。

資料 約 41,000点

自然史資料 約 4,800点

佐賀県地形模型（25,000分の1）

佐賀市街地図（2,500分の1）

唐津市街地図（2,500分の1）

恐龍（タイラノザウルス）の生態模型（2分の1）（国立科学博物館より寄贈）

原生代（コレニヤ）化石

古生代（パラフズリナ・シダ）化石

中生代（魚類・アンモナイト）化石

新生代（メタセコイヤ・シキシマバス・二枚貝・サメ・ヨコヤマオウムガイ）の各種化石

研磨した佐賀県の岩石標本（球状閃緑岩、石英、安山岩他5点）

天然記念物エヒメアヤメの生態模型

佐賀県のチョウ類標本

佐賀県のトンボ類標本

佐賀県の甲虫類標本

佐賀県の野鳥標本

オオフウチョウ・コフウチョウ剥製標本（国立科学博物館より寄贈）

天然記念物カササギの生態資料

・生態模式パネル

・生態写真

有明海・玄海の魚貝類標本

カブトガニの発生順序

有明海の干潟と生物の模型

・干潟の状態

・ムツゴロウ・ワラスボ・シャミセンガイ・アゲマキ・シオマネギ等

蛇紋岩の岩石標本

石英塊の岩石標本

角せんはんれい岩の岩石標本
讃岐岩の岩石標本
玄武岩質集塊岩の岩石標本
火山弾（竹崎海底火山、約1トン）
紫水晶大型標本（約120キロ）（ブラジル国佐賀県人会より寄贈）

考古資料 約18,100点

・先土器時代

尖頭器（杵島郡鬼の鼻山、多久市三年山・同茶園原遺跡出土）

細石器（馬渡島切立遺跡出土、伊万里市白蛇山岩陰遺跡出土）

・縄文時代

石器・土器（西有田町盗人岩洞穴出土、白蛇山岩陰遺跡出土）

西有田町坂の下遺跡出土の石器・土器・木器・編み籠の一部・木の実から発芽したアラガシの幼木

・弥生時代

三日月町土生遺跡出土の石器・土器・木器・炭化米・木の実

呼子町大友遺跡出土のカメ棺・装身具・伸展葬と屈葬人骨

唐津市桜馬場出土の鏡・銅釧・巴型銅器ほか（重要文化財）

北方町東宮裾・樺島山遺跡出土遺物の一括遺物

県内出土の各種銅鏡・銅劍・銅戈等

上峰村切通・唐津市葉山尻・神崎町八子遺跡等出土のカメ棺

・古墳時代

佐賀市熊本出土の舟型石棺ならびに副葬品（県重要文化財）

県内出土の各種武器武具・農耕用具

基山町伊勢山遺跡出土の祭祀遺物

北方町永池古墳の線刻文様（人物）

鳥栖市田代太田古墳（史跡）の模型および同古墳の壁画模写図・同復原図

関行丸古墳出土品（県重要文化財）

歴史資料 約1,200点

基肄城跡（特別史跡）出土瓦・国分寺跡出土瓦および同寺瓦窯跡出土瓦

県内出土の蔵骨器・在銘経筒

木造聖観音立像（重要文化財模造）

木造帝釈天立像（重要文化財）

木造天部立像
木造如来坐像
木造円鑑師禪坐像（重要文化財）
楊柳観音図像（重要文化財）
阿弥陀八大菩薩図像
善財童子歷參図像
釈迦三尊比立図像
八字文珠菩薩騎獅図像（県重要文化財）
水上懸仏（県重要文化財）
肥前鏡（県重要文化財）
今山合戦関係資料
豊臣秀吉の朱印状ほか文禄慶長の役関係資料
肥前各護屋城図屏風、朝鮮国禮曹の通諭文
島原の乱関係資料
藩政時代絵図および文教資料
佐賀藩精煉方関係資料
佐賀藩精煉方製造蒸気車籠形（鉄道記念物）同蒸気船籠形
石造物（観音像・地蔵像・五輪塔・板碑・六地蔵・三重塔・名古屋城旗竿石など）
パリ一萬国博覧会（慶應3年）参加関係資料
成辰の役、佐賀の乱関係資料
郷土の先覚者の書・画等

美術工芸資料 約16,100点（陶片を含む）

- 書跡
副島蒼海・中林梧竹・西川春洞・大坪終軒の書
- 絵画
洛中洛外図屏風
伊藤若冲（鶏図）他近世絵画資料
伝高橋由一（鮓）
百武兼行（イタリア風景・マンドリンをもつ少女・老婦人像）
久米桂一郎（フランス風景・りんご拾い・加茂川の新緑・ゼーヴル橋畔）
小代為重（久米桂一郎肖像・少女・チームズ河畔）
岡田三郎助（花野・バラ）
藤島 武二（裸婦・婦人像）

青木 繁（ランプ・男の像・神話・夕焼の海・佐賀風景・浴女・かるた5・木下大尉の肖像・
絵葉書・書・縂月帰舟）

高木背水・北島浅一・御厨純一・武藤辰平・山口亮一ほか本県関係の代表的画家の作品

・刀剣その他

肥前忠吉初代・2代・3代・6代・7代・9代（刀・短刀・槍先）およびその他の肥前刀匠の作品・小道具・鎧・火なわ式銃・大筒

・陶磁器

古唐津系（茶碗・皿・鉢・大鉢・水指・徳利・花瓶・大壺）

初期伊万里系（茶碗・皿・徳利）

古伊万里系（VOC商標入皿・鉢・水指・徳利・角瓶・婦人像）

柿右衛門系（深鉢・徳利・壺・陶板）

鍋島藩窯系（皿・大皿・青磁花器）

県内の古窯跡出土の陶磁器片（各種）

民俗資料 約800点

有明海の漁撈具（重要民俗資料）・玄海の捕鯨用具一式

田代製糞関係資料

製蠅関係資料

採炭用具一式

石造物

三谷和紙製作用具一式

2. 昭和51年度購入資料

①歴史資料

品 名	作 者	数量	規 格
(武具類)			
烈紋二枚胴具足		1	兜、頬当、胴、籠手、草摺、佩楯、臑當、各揃
紫威桶側二枚胴具足		1	同
(書画類)			
綽約云々 七絶三行書	鍋島 治茂	1	掛幅 紙本墨書 110.0×46.0
四空云々 七言二行書	武富 時敏	12	捲り " 各 133.0×55.0
孤山云々 七絶二行書	頼 杏坪	1	掛幅 絹本墨書 107.5×31.3

明雲 二字書	大木 喬任	1	額装 絹本墨書	35.0×86.5
顕恭云々 三行書	佐野 常民	1	掛幅 紙本墨書	146.0×40.0
三辺云々 二行書	枝吉 神陽	1	掛幅 紙本墨書	111.0×30.0
花掩云々 二行書	鍋島 直正	1	掛幅 絹本墨書	130.0×51.0
末改云々 五絶二行書	亀井 昭陽	1	掛幅 紙本墨書	97.0×27.5
南山云々 一行書	"	1	掛幅 紙本墨書	129.0×27.3
大麓云々 七絶二行書	亀井 少栄	1	掛幅 紙本墨書	102.5×26.0
戴雪云々 五絶二行書	亀井 晴洲	1	掛幅 紙本墨書	127.0×51.0
竹図画贊	亀井 大莊	1	掛幅 紙本墨書	114.5×27.5
目出云々 二行書	亀井 大年	1	掛幅 紙本墨書	127.0×51.0
題芭蕉 八行書	疊 栄	1	掛幅 紙本墨書	27.5×47.0
百里云々 七絶三行書	亀井 雷首	1	掛幅 紙本墨書	120.0×27.0
白楽天詩 九行書	小笠原長行	1	掛幅 紙本墨書	29.0×62.2

②美術資料

品 名	筆 者	数量	規 格
古城趾図	百武 兼行	1	油彩 画布 45.5×53.0 (前年購入)
朝鮮風景	高木 背水	1	油彩 画布 45.2×61.0
静物	山口 亮一	1	油彩 画布 80.3×65.2
花鳥図屏風	古川 松根	1	紙本着彩、屏風2曲1隻 本紙各128.0×64.2
海辺群鶴図屏風	高柳 快堂	1	紙本着彩、屏風6曲1隻 132.5×312.6
花壳り	古賀 忠雄	1	ブロンズ 28×27×107
帆船	山本 芳翠	1	油彩 画布 33.5×90.5
風景	岡田三郎助	1	油彩 板 34.0×27.5
K子の座像	石本 秀雄	1	油彩 額 145.5×97.0
普賢菩薩像	僧 逸然	1	絹本着彩 101.5×42.1
黒い椅子の部屋	山口 猛彦	1	油彩 画布 162.1×130.3
桜井役訣別図画譜	古川 松根	1	絹本着彩 屏風2曲1隻 本紙各117.0×53.5
古梅、雪竹図	草場 船山	1	紙本墨画 屏風2曲1隻 本紙各128.5×62.0

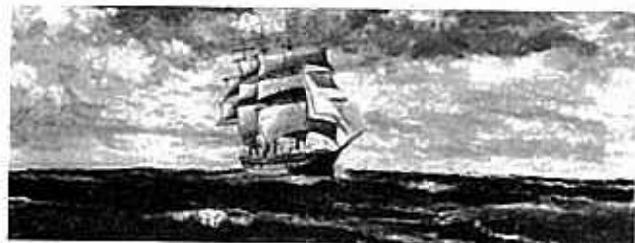
③工芸

品名	規格	
銀金壺	高さ 24.5 cm 胴経 24 cm 口径 8.5 cm	石田英一作 昭和初期
柿右衛門色絵花文輪花鉢	径 20 cm	
初期伊万里染付花蝶図平皿	径 20.5 cm	
柿右エ門様式色絵磁器倣製色絵花蝶図桃型鉢	径 26 cm 英、ボ一窯	
柿右エ門様式色絵磁器倣製色絵鳳凰に花鳥図輪花型鉢 色鍋島牡丹唐花図皿	径 30.5 cm 英、チャルシ一窯	

④資料図書

書名	著者名	数量	発行所
徳川実紀		15 冊	吉川弘文館
近世禅林墨蹟	近世禅林墨跡刊行会	3 冊	思文閣
近世禅林僧宝伝		3 冊	思文閣
平安時代の彫刻	東京国立博物館編	1 冊	便利堂
鎌倉時代の彫刻	東京国立博物館編	1 冊	便利堂
日本の鉄	奥村芳太郎編	1 冊	毎日新聞社
日本化石集		38 集	築地書館
日本産蝶類大図鑑	藤岡和夫著	2 冊	講談社
世界素描大系		4 冊	講談社
大系世界の美術		20 冊	学習研究社
浮世絵大系		17 冊	集英社
茶器名物図彙(複刻)		3 冊	文彩社
茶の湯釜	細見古香庵著	1 冊	河原書店
佐賀県教育50年史	佐賀県教育委員会編	3 冊	佐賀県教育委員会
藍田谷口先生全集		5 冊	谷口鐵太郎

購入資料



「帆 船」山本芳翠



「風 景」岡田三郎助



柿右衛門色繪花文輪花鉢



色鍋島牡丹唐花図皿



英チュルシー窯 柿右衛門写花鳥鉢



草場船山筆 老梅満月図 雪竹図



紫威桶側二枚胴具足
 (竜造寺政家が豊臣秀吉から
 拝領したと伝えられる)



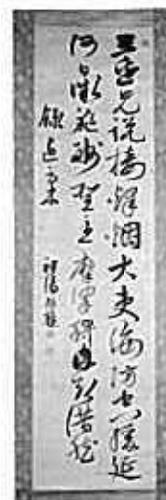
烈紋二枚胴具足



龟井昭陽書



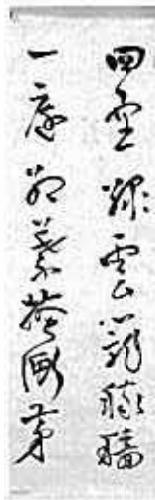
龟井大莊書



枝吉神陽書



龟井大年書



武富時敏書
 (12枚中第1枚)

3. 昭和51年度寄贈資料

①自然史資料

品名	数量	規格	寄贈者・その他
マナヅル	1	全長 翼長 クチパン 99cm 68cm 14cm	県環境整備課 (相知町佐里下 田中広美採取)
オジロワシ	1	全長 翼長 クチパン 38cm 57cm 6cm	県環境整備課 (伊万里市大川町駒鳴字椎立 2914 みかん畑)
ミサゴ	1	全長 翼長 クチパン 58cm 44cm 3cm	県環境整備課 (伊万里市大平山で保護)
自然硫黄	1	縦 6.5cm 横 14.0cm	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫 (北海道硫黄山採取)
クジラの歯	1	縦 17cm 横 3.0cm	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫 (南氷洋採取)
クジラのヒゲ	2	A 82cm×20cm B 70 × 24	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫 (南氷洋採取)
シャコガイ	1	長径 30cm	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫
トウカムリガイ	1	長径 21cm	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫
ホシダカラ	1	長径 6.5cm	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫
クモガイ	1	長径 11.0cm	佐賀市嘉瀬町中原 大島一夫
化石 (マキの仲間)	1	17×25×6cm 1.5kg	佐賀市本庄町末次 413 盛川永統
ムラサキスイシ ヨウ(紫水晶)	1	120kg	県農地管理課より管理換え (南米、ブラジル、ミナス、ゼライス州産、 ブラジル佐賀県人会代表 石井滿より寄贈)
火山弾	1	1,000kg	藤津郡太良町青木平丁8 前間満幸 (太良町大浦小学校西台地より採取)

②考古資料

品名	数量	規格	寄贈者
経筒	1	総高 27.1cm	杵島郡北方町十三塚 真鍋石翁
須恵器・ 土師器	3		佐賀市高木瀬町東高木 実松 勝

③歴史資料

品 名	数量	規 格	寄 贈 者
地 券	6	明治13年(5) 明治18年(1) 25.0×32.5	東松浦郡呼子町加部島 向 六太郎
式 刀	1	全長 73.0 刀長 58.0	佐賀市天神2丁目5の18 中橋 クニ
村田家所蔵・鑄等資料			神奈川県横浜市中区根岸旭台1 村田富士子
・紺糸威桶側二枚胴具足	1	各道具揃	"
・脛 具足	2	兜欠	"
・雪下胴具足	1		"
・宮田勝貞五枚胴具足	1	胴、籠手、草摺、脇当	"
・星 兜	1	31間	"
・頬 当	2	隆武形、猿頬形	"
・唐人笠甲	3	五七桐紋2、12日足紋1	"
・陣 笠	1	桐紋	"
・後 立	1	木製	"
・陣中弁当	1	径 11.0 高 15.0	"
・行李弁当	1	21.4×17.5	"
・紙 入	1	12.0×20.0	"
・前 立	2	涛日輪紋、三日月紋	"
・竜造寺隆信、政家高房 三代肖像画	1	掛幅、絹本着彩 103.0×48.0	"
・竜造寺隆信画像	1	掛幅、紙本着彩 101.0×41.0	"
袖がらみ	1	全長 293.5	佐賀市鍋島町八戸溝 北村 寿男

④民俗資料

品 名	数量	規 格	寄 贈 者
ほら貝	1	長さ 26cm	東松浦郡呼子町加部島 向 七郎
竹製かけばら	1	口径 29cm	佐賀市嘉瀬新町 井上 末吉
竹製むつかご	1組	高さ 21cm	"
天 秤	2		"
行商用前掛	1		"
竹製胴まる	1	高さ 60cm	"
竹製うなぎてば	2	高さ 33cm	"
竹製遠州かご	3	高さ 20cm	"
竹製うなぎいれ	2	高さ 20cm	"

ブリキ製セッカいれ	2	29cm×39cm×40cm	佐賀市嘉瀬新町	井上 末吉
セッカすくい	2	長さ 29cm		"
ワラスボかき	1	長さ 130cm	佐賀市本庄町末次	盛川 永統
アゲマキつり	1	長さ 100cm		"
さしおい	1	長さ 43cm		"
木綿織機	1式		神埼郡東背振村上三津	迎 竹次
火鉢		214cm×68.5cm×36cm	佐賀市今宿町	大塚 公平

⑤美術資料

品 名	筆 者	数量	規 格	寸 法	寄 贈 者
都のぼり（旅行記）	田中 京一	1		表紙 23.3 × 16.0cm	佐賀市 田中宗一
たび衣（旅行記）	"	1		23.3 × 16.0	"
防波の岩礁	池田幸太郎	1	紙本着彩 額装	95.0 × 153.0	東京都 池田草二
海	"	1	"	92.0 × 181.0	"
皎夜	"	1	紙本着彩 額無	181.5 × 123.0	"
時計塔	"	1	紙本着彩 屏風 2曲 1隻	170.5 × 197.0	"
少年	"	1	絹本着彩 捲り	101.0 × 179.4	"
朝市	"	1	"	102.5 × 179.4	"
犬のいる風景	"	1	"	106.0 × 154.5	"
染井釣堀の図	"	1	"	102.2 × 210.0	"
坂のある風景	"	1	"	100.4 × 155.5	"
婦人座像	"	1	"	151.5 × 85.2	"
婦人立像	"	1	"	155.5 × 57.0	"
婦人半身像	"	1	"	57.4 × 35.5	"
肘立てる婦人	"	1	"	134.0 × 65.5	"
溜地風景	"	1	紙本着彩 捲り	178.5 × 175.7	"
浅草風景	"	1	"	188.0 × 97.7	"
両国風景	"	1	"	178.0 × 98.0	"
染井釣堀の図下絵	"	1	紙 木炭	106.0 × 21.0	"
犬のいる風景下絵	"	1	紙 木炭 淡彩	100.0 × 154.5	"
坂のある風景下絵	"	1	紙 鉛筆 淡彩	101.0 × 156.0	"
橋のある風景下絵	"	1	紙 木炭 淡彩	180.0 × 235.5	"
溜地風景下絵	"	1	"	182.5 × 172.0	"

貨車のある風景 静 物	池田幸太郎	1 "	紙 木炭 紙 淡彩	163.0 × 70.0 cm 26.7 × 23.7	東京都 池田草二 "
----------------	-------	--------	--------------	--------------------------------	------------------

⑥仏教美術資料

品 名	数量	規 格	寄 贈 者
聖観音像	1 枚	像高 82 cm	京都市東山区三条通 江里 宗平
六字名号碑	1 基	" 110 cm	佐賀郡大和町都渡城都渡城部落
大明神碑	1 基	" 70 cm	"
手洗鉢	1 基	" 80 cm	"

⑦工芸資料

品 名	数量	寄 贈 者	備 考
青磁制作工程	5	伊万里市大川内町 小笠原 隆	高さ 20.5 cm 素焼 1. 青磁釉 1. 焼成品 1. 青磁釉 1. 青磁品 1.

寄贈資料



糸威桶型二枚胴具足
(竜造寺隆信着用と伝えられる)



マナヅル



火山彈



崇判山経家出土 経筒

4. 昭和51年度寄託資料

①歴史資料

品 名	数量	規 格
佐賀藩鋳造鉄製 24 ポンド砲	1	全長 296.5 内径 14.7
竜造寺高房画像（天祐公）	1	掛幅 絹本着色 55.0 × 34.5
南沢一本杉合戦図	1	額装 紙本着色 53.8 × 94.5
致徳斎筆「徳不孤」三字書	1	" 絹本墨書 30.5 × 56.0
閑叟書状	1	" 紙本墨書 17.2 × 138.6
佐藤一斎筆「月到云々」五絶三行書	1	掛幅 " 105.5 × 54.0
和歌懐紙「梶の露云々」	1	" " 35.1 × 47.5
和歌懐紙「峯松と云々」	1	" " 33.4 × 44.5
画 像	1	" 絹本着色 76.0 × 30.6
致徳斎筆「己卯云々」九行書	1	" 紙本墨書 40.5 × 59.8
毛利輝元書状（政家あて）	1	" " 15.6 × 43.5
壳茶翁筆「茶一席云々」四行書	1	" " 31.0 × 43.0
大潮筆達磨自画贊	1	" " 90.0 × 29.0
草場佩川筆「路入云々」七絶三行書	1	" " 131.0 × 43.0
佐野常民筆 還暦之詩	1	" " 148.0 × 40.2
島義勇筆「藍水云々」二行書	1	" " 118.5 × 29.0
古川松根筆 鉢乃木自画贊	1	" 紙本淡彩 65.5 × 33.0
草場佩川筆 飛鷹画贊図	1	" 絹本着彩 124.0 × 48.2
草場佩川筆 柳鳥画贊図	1	" " "
草場佩川筆 西王母図	1	" " 35.0 × 53.0
草場佩川筆 詩屏風	1	4曲1隻 紙本墨書 各扇 130.0 × 50.0
草場佩川筆 詩屏風	1	" " " "
草場佩川筆 松画贊屏風	1	6曲1隻 " " 102.5 × 37.0

②美術資料

品 名	筆 者	規 格	寸 法	寄 託 者
七福神図	富 岡 鉄 斎	紙本水墨	38.3 × 154.5 cm	烏栖市立基里小学校
鷹狩図	土 佐 光 雄	紙本着彩	39.0 × 100.0	烏栖市教育委員会

若き娘の顔	岡田三郎助	油彩 画布	41.5 × 33.5 cm	佐賀大学
台湾娘	藤島武二	"	41.0 × 32.0	"
衣を与う	海老原喜之助	"	80.5 × 64.5	"
婦人像	斎藤与里	"	90.5 × 65.4	"
須磨初秋	辻永	"	40.8 × 52.5	"
H氏像	中西利雄	紙 水彩	60.2 × 48.5	"

③工芸

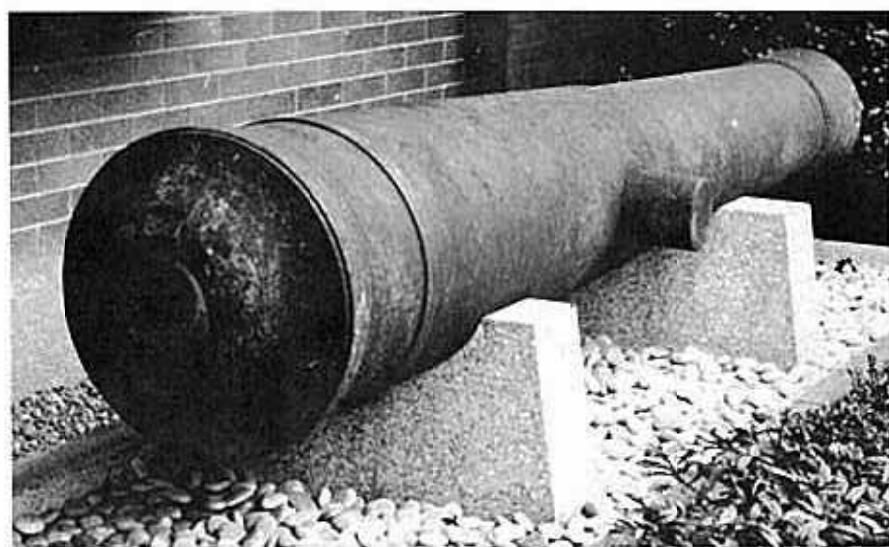
品名	規格	寄託者
金彩牡丹図壺（深川製磁製）	高さ 22.5 cm	日本赤十字佐賀県支部事務局長瀬戸口芳夫



草場佩川筆 西王母図



竜造寺高房画像



佐賀藩鋳造鉄製 24ポンド砲

5. 昭和51年度購入及び寄贈図書

①購入図書

書名	著者名	数量	発行所
重要文化財	文化庁監修	6冊	毎日新聞社
初期の伊万里	山下朔郎	1	徳間書店
盛期の伊万里	山下朔郎	1	徳間書店
四季の茶花	山藤宗山	1	淡交社
世界考古学大系		4	平凡社
日本茶道史	桑田忠親	1	河原書店
八幡信仰史の研究	中野幡能	2	吉川弘文館
華族譜要	維新史料編纂会	1	大原新生社
ガラスの旅	佐藤潤四郎	1	芸艶堂
土師式土器集成	杉原莊介・大塚初重編	1	東京堂出版
日本伝統文様集	岡登貞治	1	造形社
野田家日記	三好不二雄監修	1	西日本文化協会
更紗	浦野理一著	1	泰流社
天文ライブリー		4	恒星社
九州沖縄の生きものたち		1	西日本新聞社開発局出版部
柳園古器略考、銘記、解説	青柳種信	2	文献出版
陶器講座 9		1	雄山閣
幕末維新史料叢書		10	新人物往来社
染織と生活		7	染織と生活社
日本の文様	上條耿之介	1	雄山閣
日本の染織		5	泰流社
日本の文人画	東京国立博物館監修	1	更利堂
医学に関する古美術聚英	京都国立博物館編	1	更利堂
法隆寺献納宝物	東京国立博物館編	1	更利堂
日本原始工芸	杉山寿栄男編	2	北海道出版企画センター
葉隱の神髓	栗原荒野	1	葉隱精神普及会

②寄贈図書

書名	著者名	数量	発行所
12代中里太郎右衛門 唐津作品集	12代中里太郎右衛門	1	講談社
征西將軍宮	藤田明編著	1	文献出版
昔の日本史 9		1	平凡社
龍泉集芳		2	繩山龍泉堂
重要文化財 28	文化庁監修	1	毎日新聞社
山陽新幹線関係 埋蔵文化財調査報告		3	福岡県教育委員会
茨城県馬渡における 埴輪製作址		1	明治大学
佐賀県史蹟名勝天然記念物 調査報告書	佐賀県 佐賀県教育委員会編	2	青潮社
増訂國書解題	佐村八郎	2	名著普及会
佐賀県史料集成 17		1	佐賀県立図書館
日本の名画 2		1	中央公論社
有田の文様	鍋島直紹監修	1	美乃美
現代日本の美術 9		1	集英社
飛鳥藤原宮発掘調査報告書		1	奈良国立文化財研究所
日本美術年鑑	東京国立文化財研究所美術部	1	東京国立文化財研究所
小長井町郷土誌	小長井町郷土誌編集委員会	1	小長井町役場
日本現代工芸美術	現代工芸美術家協会	1	マリア書房

茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

茶室「清恵庵」は、昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で4年目を迎える。本年度はとりわけ本県で国民体育大会が開催された関係もあり、県外からの見学者が目立った。利用の傾向としては普及が広く一般に滲透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や各種団体による茶会など幅広く利用された。

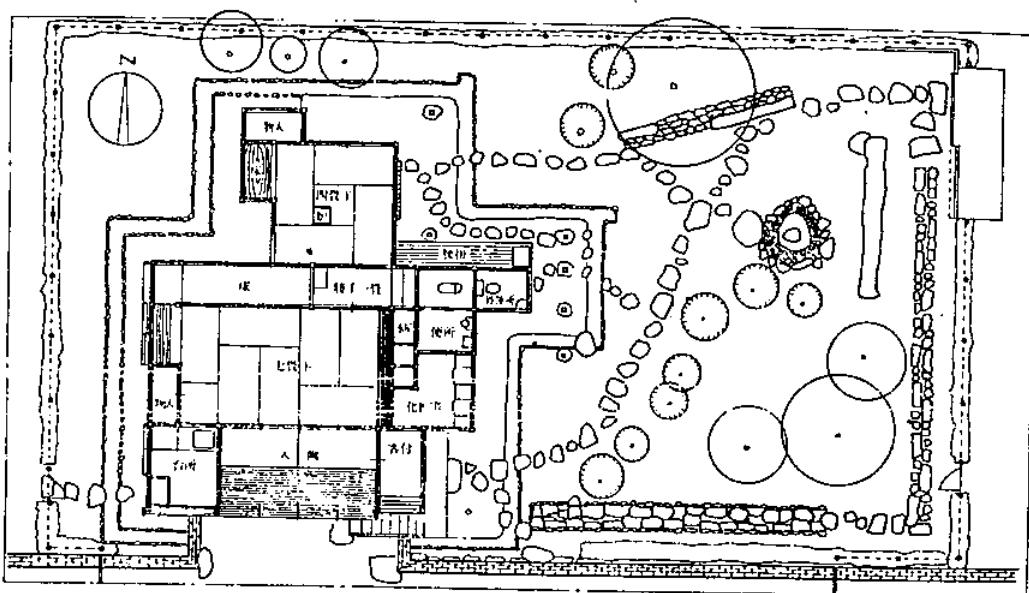
1. 茶室の規模および施設

設計者 堀口捨己 東京都太田区山手4-6-5

早川正夫 東京都港区南青山5-9-12 アイザワビル

構造 木造平家建資棟造・銀模 庄内建 67.35m²

蓋室平面圖



2. 茶室の規則、規程

⁶ 佐賀県立博物館の管理に関する規則（昭和45年佐賀県教育委員会規則第10号）抄

第15条 館長は、博物館の業務に支障のない範囲内において、大展示室・中展示室及び茶室等の施設を博物館事業に関係のある行事のために使用させることができる。

附 則（昭和48年10月11日規則第11号）

この規則は昭和48年10月11日から施行する。

・佐賀県行政財産使用料条例等の取扱いについて

地方自治法（昭和22年法律第67号）第228条の4第3項及び佐賀県立博物館の管理に関する規則

(昭和45年佐賀県教育委員会規則第10号) 第15条の規則に基づき、佐賀県立博物館の大展示室・中展示室及び茶室の使用を許可する場合の事務手続き及び使用料については、佐賀県行政財産使用料条例(昭和39年佐賀県条例第33号)及び佐賀県公有財産規則(昭和40年佐賀県規則第6号)を適用し、関係条項の取扱いは、下記のとおりとする。

記

- 大展示室・中展示室及び茶室の一時使用許可の手続きについては、佐賀県公有財産規則第20条の規定によることとする。
- 前項の許可による使用料の額は、佐賀県行政財産使用料条例の別表中「講堂、体育館及びこれに類するもの」に該当するものとしてその額を定めるがこの場合、昭和39年12月17日付管第642号の総務部長通知による定めにかかわらず、実情に即して下表によることとする。

名称構造等	面積(m ²)	期間(時間)	使用料(円)
大展示室	523.5	4	1,500
中展示室	136.0	4	500
茶室	57.35	4	1,500

- 前項の使用料の減免について佐賀県行政財産使用料条例第5条を適用する場合その取扱いについては前項の総務部長通知の運用によることとする。
- 大展示室・中展示室及び茶室を使用させるさいの光熱水費等については、前項の総務部長通知の取扱いによることとし、なお光熱水費等の徴収額は、下表のとおりとする。

区分	大展示室	中展示室	茶室	備考
冷暖房しない場合	310	70	30	1時間当たり
冷房の場合	840	140	—	"
暖房の場合	590	130	—	"

・佐賀県立博物館茶室「清恵庵」使用規程(昭和48年10月20日 佐賀県立博物館規定第26号)

(趣旨)

第1条 佐賀県立博物館茶室清恵庵(以下「茶室」という)の使用については、この規程の定めるところによる。

(使用申込)

第2条 茶室を使用しようとする者は、茶室使用申込書(別記様式第1号)により使用期日の10日前までに佐賀県立博物館長(以下「館長」という)に申し込むものとする。

(使用の許可)

第3条 館長は、前条の申し込みによる茶室の使用を認める場合は、茶室使用許可証(別紙様式第2号)を交付するものとする。

(許可の取消等)

第4条 館長は、茶室の使用許可を受けた者が次の各号の1に該当する場合は、使用の許可を取り

消し、又は使用を中止させることができる。

1. 茶室使用申込書に虚偽の記載があったとき。
2. 許可の条件に違反したとき。
3. 関係職員の指示に従わなかったとき。
2. 前項の許可取消等により生じた損害についての補償は行なわない。

附 則

この規程は、昭和48年10月20日から施行し昭和48年10月11日から適用する。

3. 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、4年目に入り、県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。本年は各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは茶道同好会など、利用者の幅がさらに広まり、社会教育・学校教育の一環として広く利用された。

月例にみた利用状況は下表のとおりである。

年 月	利用団体数	利用者数(名)	見学者数(名)
51. 4	1	20	75
5	4	819	45
6	2	32	27
7	2	10	58
8	1	10	23
9	2	45	4
10	3	87	22
11	0	0	59
12	1	9	0
52. 1	3	56	14
2	2	100	22
3	1	25	46
合 計	22	1,213	395

4. 茶道具備品

(1) 昭和50年度末の概況は次のとおりである。 約154点

掛物（淡淡斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書）

花入（胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、備前焼）

香合・香炉（12代今泉今右衛門作、井上万二作、宗祥作、黒牟田焼「丸田正美作」）
 茶碗（中里無庵作、13代中里太郎右衛門作、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原嵩作」）
 水指（信染焼「高橋楽斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、12代今泉今右衛門作）
 薄茶器（沈金棗「安村稔作」）
 濃茶器（13代酒井田柿右衛門作）
 風炉（利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉）
 釜（切合釜、竹紋縁口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲竜釜「高橋敬典作」、尻張釜「高橋敬典作」）
 棚（竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板）
 火入（染付「12代今泉今右衛門作」）
 菓子鉢（唐津焼、「13代太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口正美作」）
 建水（不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅）
 皆具（唐銅「祥栄作」）
 曲湯桶、置炉、瓶掛等、

(2) 昭和51年度購入備品 6点

品 名	数量	作 者	規 格
竹花入（花衣）	1	生 野 祥雲斎	口径 8.5 高さ 27.5
竹一重切花入 (前大徳寺誠堂箱書銘花衣)	1	宗 陵	口径 7.0 高さ 23 底径 9.0
青磁花入	1	小笠原 嵩	口径 24.4 高さ 20.6
青磁茶碗	1	中 島 宏	口径 12.8 高さ 8.4
唐津井戸茶碗	1	中 里 重 利	口径 15.0 高さ 8.9
薔薇塗四方盆	1	雪 斎	縦横 24.1×24.1 高さ 3.0

(3) 昭和51年度寄贈備品 3点

品 名	数量	作 者	規 格	寄 贈 者
青磁茶碗	1	中 島 宏	口径 14.7 高さ 7.2	中 島 宏
捲（一行書）	1	村瀬玄妙	紙本墨書 113.2×22.3	村瀬玄妙
色紙	2	村瀬玄妙	紙本墨書 27.0×24.0	村瀬玄妙

(4) 昭和51年度寄託品 6点

品 名	筆 者	数 量	規 格
慎 獨 二字書 「凡神國云々」五行書 (太宰府天満宮碑)	鄭 嘉 訓 菅 原 為 定	1 幅 1 幅	紙本墨書 105.5×52.5 紙本摺本 135.0×67.5
白鹿洞書院図	良 秀	1 幅	絹本著彩 128.0×41.5
武 者 図	蘿 泉	1 幅	絹本著彩 123.0×40.5
トレード風景	石 本 秀 雄	1	パステル摺本 32.0×25.5
「茶」額		1	木 製 70.0×35.0×37.0

購入備品



唐津井戸茶碗 中里重利作



竹花入(花衣)
生野祥雲齊作



竹一重切花入 宗陵作

寄贈備品



黄檗山
村瀬玄妙筆



黄檗山
村瀬玄妙筆



黄檗山
村瀬玄妙筆



青磁茶碗 中島宏作

昭和51年度の主要行事写真



天皇陛下、皇后陛下「若狭国体藝術展」をご観覧なさる



高松宮殿下、高松宮妃殿下「若狭国
体藝術展」をご観覧なさる



皇太子殿下、美智子妃殿下「柿右衛門名品展」を
ご観覧なさる

佐賀県立博物館の展示事業計画（昭和52年度）

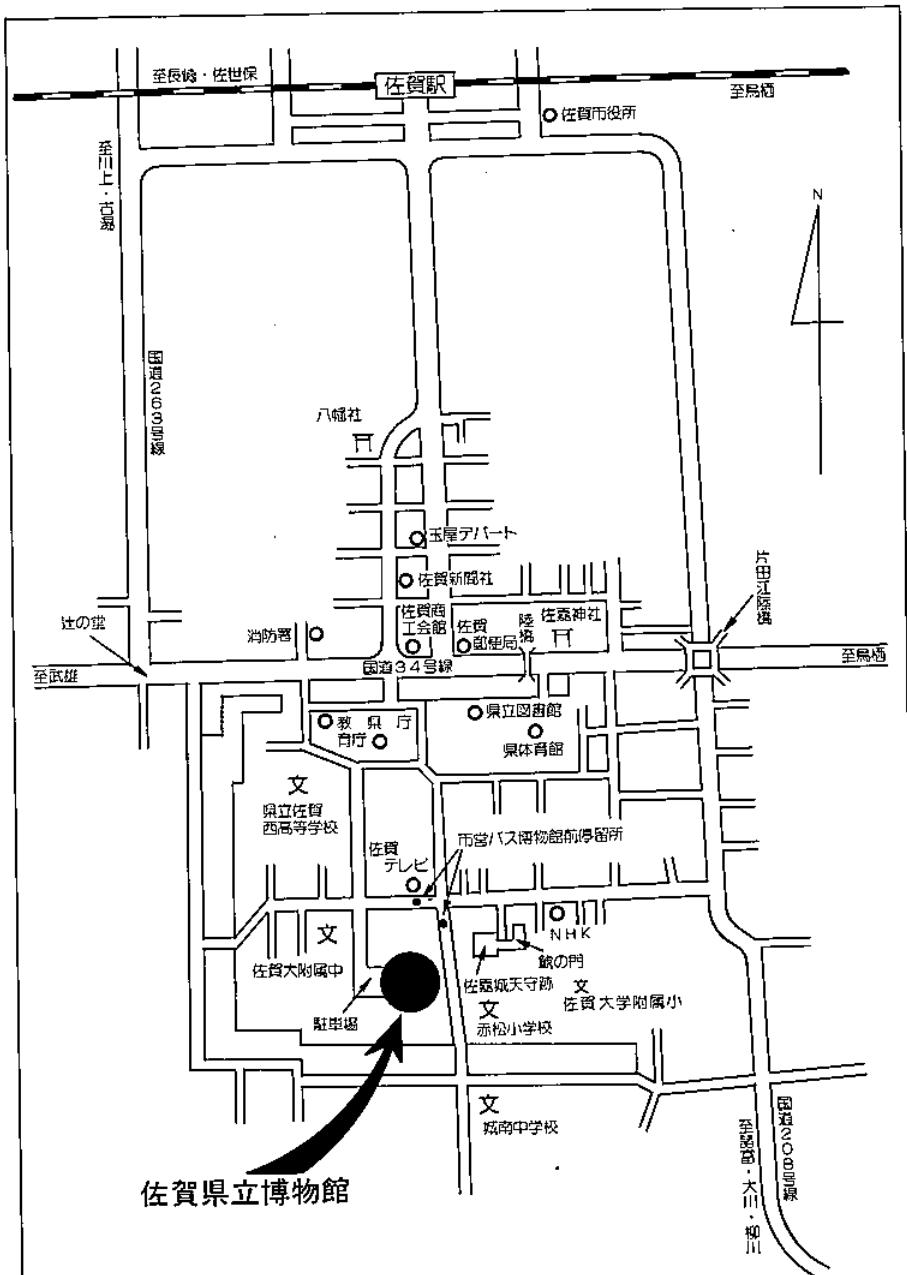
常 設 展			
佐賀県の歴史と文化展	4月6日～8月7日 53年 11月13日～1月25日	大人 50 (30) 大・高生 30 (20) 中・小生 20 (10)	佐賀県の地質や自然および先史時代から現代にいたる歴史と文化についての、理解を深めるために自然史、歴史、美術工芸、民俗の各部門について、系統的に資料を展観する。

(月曜・祝日の翌日休館) 団体は20名以上、()内は団体料金

企 画 展			
展覧会名	会期	観覧料 ()内は団体料金	備考
納富進遺作展	4月16日～5月8日 会期中無休	無 料	昨51年2月になくなられた洋画家納富進(1911～1976)の代表的遺作約70点を一堂に展観、紹介する。納富進は、佐賀県鹿島市に生まれ、文化学院美術部を卒業後、一水会に所属し、昭和24年以来同会常任委員、また昭和41年には日展評議員となり、日展の審査員を4回つとめるなど、その画業は中央的に高く評価されていた。
第16回日本現代工芸美術展	5月21日～6月5日 会期中無休	無 料	日本の新しい現代工芸美術の発展のために、制作活動を続けている代表作家の昭和52年度日本現代工芸美術展の基本作品72点を中心に、佐賀県関係の陶芸、染色26点を含む九州各県関係者の作品など約100点を公開展示し、本県の工芸发展を図り、併せて現代工芸への理解を深め、造形文化の向上に資するための展観である。
佐賀美術協会展	6月16日～6月21日 会期中無休	無 料	佐賀美術協会は60余年の歴史を持ち、県美術展と並んで有力な登龍門ともなっている。本展は今年第60回を迎える。日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門で約二百数十点が展観される。
池田幸太郎遺作展	7月9日～7月31日 会期中無休	無 料	昨51年8月になくなられた日本画家池田幸太郎(1895～1976)の代表的遺作約50点を展観紹介する。池田幸太郎は佐賀市に生まれ、旧制佐賀中学、東京美術学校日本画科を卒業。大正末から昭和初期には帝展などに入選したが、晩年は一時日本画府に籍を置いたのみで、各種の展覧会から離れて独自の画風を追究した。
梧竹展	8月20日～9月11日 会期中無休	大人 200 (150) 大・高生 100 (80) 中・小生 50 (30)	近代日本の代表的書家である中林梧竹の生誕150年を記念して未発表資料を中心に、その代表的作品を一堂に集め展観し書聖梧竹の書歴と遺業をしのぶ。
理科作品展	9月6日～9月14日 10日は休み	無 料	佐賀市内および佐賀県内の小・中・高校の児童・生徒のすぐれた動物(昆虫を含む)、植物、岩石鉱物、理科創作品を展示し、科学に関する創意的研究の育成と向上をはかるとともに、広く一般の観覧に供し、科学教育に対する理解を深める。
鍋島更紗・段通 日本の更紗・世界の更紗・段通 をたずねて	9月17日～10月16日 会期中無休	大人 300 (200) 大・高生 150 (100) 中・小生 80 (50)	肥前地は、陶磁器につぐ工芸として、鍋島更紗・鍋島段通などによって代表される。この企画展は、鍋島関係の資料を中心に、自然・文化・伝統の中につちかわれた染文様のもつ異国情緒あふれる更紗の魅力と、重厚堅剛で、独自の世界について文化史的角度からの意義と、美術工芸上の地位を探る。(出品点数 更紗資料50点、段通資料50点 参考資料20点)
佐賀県美術展	10月29日～11月6日 会期中無休	大人 150 (100) 大・高生 100 (70) 中・小生 50 (30)	日本画・洋画・彫塑・工芸・写真・書・宣伝美術の各部門で県内より公募した作品及び招待作品等を展示して佐賀県の現代美術を一般的に紹介し、地方文化の高揚に資する。
大学総合美術展	11月9日～11月12日 会期中無休	無 料	佐賀大学特設美術科では毎年秋に平常の研究成果を総合展という形で発表している。日本画・洋画・彫塑・デザイン・染織・木工・金工・窯芸の各分野にわたる内容で、情熱に満ちた作品の展観が期待される。

展覧会名	会期	観覧料 （内は団体料金）	備考
九州グラフィックデザイン展	11月14日～11月20日 会期中無休	無料	この展覧会はデザイナーの登龍門となっており、九州、沖縄各県広域文化の向上発展と相互の交流をはかるための一環である。現在第一線で活躍するグラフィックデザイナーの作品50点と一般公募作品100点余を展示し、グラフィックデザイン界の発展に寄与する。
勤労者美術展	11月23日～11月28日 会期中無休	無料	美術愛好の勤労者の作品を対象とした勤労者美術展は今年8回目を迎える。公募の形式をとっているが、絵画・書・写真・工芸の4部門からの全出品作品約250点を展覧する。
佐賀県高等学校美術展	12月1日～12月6日 会期中無休	無料	県下の高等学校生徒が制作した水彩・油彩等の絵画を集め展覧するもので、本県高等学校美術教育の振興に資する。
佐賀県学童美術展	12月10日～12月15日 会期中無休	無料	本展は県下の小・中学校の美術振興のため創設された小・中学校児童・生徒の登龍門的展覧会であり、絵画・デザインとも力量あふれる展覧が期待される。
教職員美術展	12月18日～12月23日 会期中無休	無料	県下の学校に勤務する教職員の絵画・彫刻・書・デザイン・写真・工芸の作品を一堂に展覧する。新鮮な着想と、のびやかな表現が期待される展示会である。
佐賀県高等学校書道展	53年 1月14日～1月20日 会期中無休	無料	県内高等学校生徒の書道作品を展示し、一般公開することによって、高等学校生徒の書道文化と技術の向上に資することを目的として開催する。
書初展	1月22日～1月28日 会期中無休	無料	県内小・中・高校生及び一般人の毛筆書写について関心をもたせたゆまめ努力によって作品効果が表現出来ることを理解させるための展示であって、ひいては本県の書道教育の向上と佐賀県書道の振興発展に寄与する。
二科展	2月4日～2月19日 会期中無休	大人300(250) 大・高生200(150) 中・小生100(50)	二科会は、最大規模の全国公募団体であり、絵画・彫塑・商美・写真とバラエティーに富んでいる。毎年9月に東京都美術館で開催されているが、この展覧はその巡回展である。県内出品者も40名近くあり、二科展を開催することにより、地方美術文化の向上に資する。（出品点数210点（絵画120点、彫塑10点、商美50点、写真30点））
古代のくらしのなかの器展 －九州の弥生・古墳時代－	2月26日～3月26日 会期中無休	大人200(150) 大・高生100(50) 中・小生50(30)	数千年の長い間、日本列島に住む人々の手により製作・使用された縄文土器も、やがて伝えられた農耕文化によって弥生土器が誕生した。古墳時代になると、弥生土器から変化した土師器が使用され後には大陸から進んだ高温で焼きしめた陶質の須恵器をつくる技術が伝わり、人々のくらしが豊かになった。この展覧では、弥生時代から古墳時代を通じ使用された各種の土器を紹介し、製作技術や形態の変化・機能など器に対する理解と認識を深めようとするものである。
佐賀大学卒業制作展	3月18日～3月21日 会期中無休	無料	佐賀大学美術科は特設美術科教員養成課程、中学美術教員養成課程、小学校教員養成課程工選修の各コースから成りたち、特別教科は九州・山口一円に亘り高校美術・工芸の教員として多くの人材を送り出している。毎年在学中の研究の集約として各人努力作を展覧する。

案内図



交通機関

佐賀駅から市営バス市内右廻り 博物館前下車
左廻り

各バス（昭和、祐徳、市営）で県庁前下車

南へ300m 徒歩12分

佐賀県立博物館年報 第7号

発行年月日 昭和52年6月1日

編集発行 佐賀市城内1丁目15-23
佐賀県立博物館

印刷日之出印刷株式会社

佐賀県立博物館

〒840 佐賀市城内一丁目15-23 TEL(093)3947